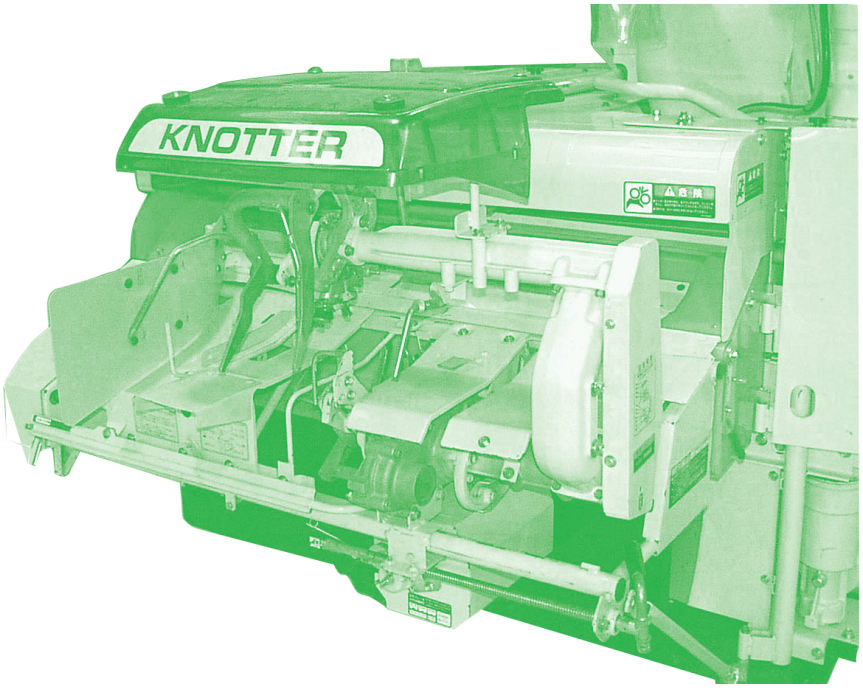
# コンバインノッタ

## 取扱説明書

## KN-M13・KN-M217




ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください

# このたびはコンバインノッタをお買いあげいただきありがとうございます。

## ●はじめに

この取扱説明書は機械の正しい取扱いかたと簡単なお手入れ，および守っていただきたい安全に関する事項について説明しています。

ご使用まえにこの取扱説明書とコンバインの取扱説明書を合わせてよくお読みいただき安全で快適な作業をしてください。

・お読みになった後も身近な所に保管しいつでも読めるようにしてください。
・また，この機械を貸与または譲渡される場合は，この取扱説明書を機械といっしょにお渡しください。

・本書では，安全上特に重要な項目を⚠で示し，次のように表示しています。必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | その警告に従わなかった場合は，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。 |
| ⚠警告 | その警告に従わなかった場合は，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠注意 | その警告に従わなかった場合は，ケガを負うおそれのあるものを示します。 |

・なお，この機械の品質・性能向上あるいは安全のために，使用部品を変更することがあります。その際には本書の内容およびイラストなどの一部が，機械と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ねがいます。

## ●機械の使用目的について

・機械はコンバインに取付けて稲，麦の排ワラの結束作業にご使用ください。
・上記の作業以外には使用しないでください。（適用コンバイン以外には取付けないでください。）
・機械を使用目的以外の作業に使用したり，改造したりした場合は保証の対象にはなりません。（詳細はコンバインの保証書をご覧ください。）

# こんなとき，こんなことが知りたいとき，ここを見てください！


ページ

● **安全な作業をするための注意事項は？** **安全作業のために ①**

このコンバインノッタ（以下「**ノッタ**」という）はコンバインに装着して作業を行う機械ですのでコンバインの「**安全作業のために**」の項をよく読んで安全作業に努めてください。また機械に貼付けてある安全に関する表示ラベル（警告ラベル）について説明しています。ご使用まえによく読んで理解し必ず守ってください。

● **使用前に知っておかなければならないことは？** **ご使用前に ②**

機械の概要「**仕様（装備）**」等について説明しています。

● **各部のはたらきを知るには？** **各部のはたらき ④**

機械の主な名称について説明し，各装置の取扱いを説明しています。
よく理解し正しい操作をしてください。

● **ノッタはどのような方法で装着するの？** **ノッタの取付け要領 ⑤**

ノッタの取付けの準備・取付け方について説明しています。

● **ノッタを運転するためには？** **運転のしかた ⑪**

ノッタを正しく運転するために必要な点検や自動車への積載・ほ場への出入りのしかたについて説明しています。

● **ノッタ作業を行うには？** **作業のしかた ⑫**

ノッタ作業の基本操作を説明しています。ほ場条件や作物の条件にあった機械の調整をして安全な収穫作業をしてください。

● **機械を長もちさせるには？** **手入れのしかた ㉓**

よく働いた機械をいたわるため，シーズンが終わったらコンバインとともに「**定期点検整備表**」に従って保守・点検し，来シーズンに備えてください。

● **故障かなと思った時は？** **不調時の処置 ㉕**

作業中のトラブルや不調，性能が低下している？と思ったら現象を正しく理解して処置してください。

● **諸元・関連部品？** **付　　表 ㉗**

機械に係る諸元表・消耗部品等を一覧表で説明し，また，取扱説明書にでてくる専門用語を解説しています。

# もくじ


安全作業のために……1

ご使用まえに……2

1．保証とサービスについて……2
2．仕様について……3
　1．ノッタの仕様と適用コンバイン……3
3．用語について……3

各部のはたらき……4

1．各部の名称とはたらき……4

ノッタの取付け要領……5

1．ノッタ取付け部品の明細……5
2．コンバイン側の準備……7
3．ノッタの装着のしかた……9
4．ノッタの取外しかた……10

運転のしかた……11

1．運転まえの点検……11
2．自動車への積込み・積降ろし……11
3．ほ場への出入り……11

作業のしかた……12

1．作業まえの準備……12
　1．作物の条件……12
　2．結束ひもの取扱い……12
　3．結束ひもの通しかた……12
　4．ひもブレーキの使い方……14
　5．ひもホルダの調整……15
　6．束の大きさ調整……16
　7．結束位置の調整……16
　8．株元そろえ板の調整……17
2．ノッタ作業のしかた……18
　1．ノッタ作業のしかた……18
　2．結束しないワラの排出作業のしかた……20
　3．セットピン（安全ピン）の交換のしかた…21
　4．カッタオープンのしかた……22

手入れのしかた……23

1．定期点検整備……23
2．注油のしかた……23
　1．ノッタ各部の注油……24
　2．株元そろえ板駆動ギヤ……24
　3．ノッタ駆動チェン……24
　4．結束軸駆動チェン……24
3．各部の点検と調整のしかた……24
　1．ノッタ・カッタの切替え調整……24

不調時の処置……25

1．ノッタが動かない……25
2．結束ミスが発生する……25
3．束のつながりが発生する……26

付表……27

1．主要諸元……27
2．アタッチメント（別売り）……27
3．主な消耗部品……28
4．用語解説……28

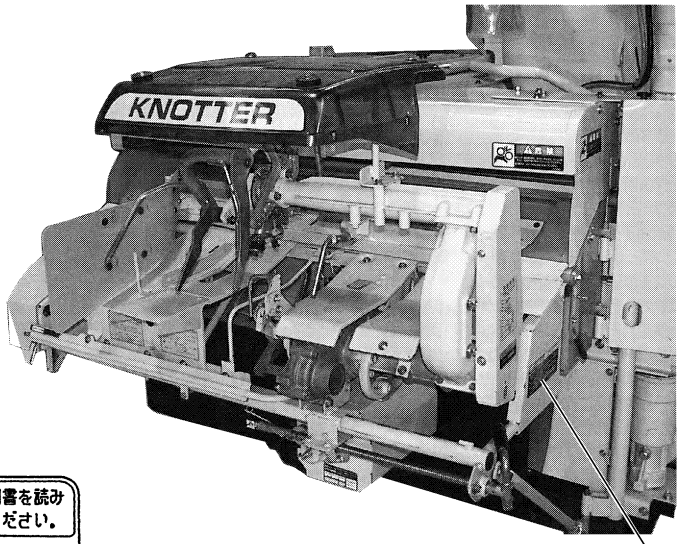
# 安全作業のために

このノッタはコンバインに装着して作業を行う機械ですので，コンバインの取扱説明書の「**安全作業のしかた**」の項をよく読んで安全作業に努めてください。

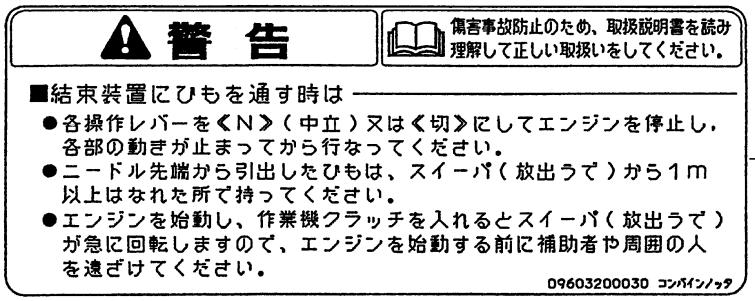
## 表示ラベルについて

この機械には安全な取扱いかたについて説明している「**表示ラベル（警告ラベル）**」が貼付けてあります。各々のラベルの説明をよくお読みいただき，注意を守って操作してください。

また，機械に貼ってあるラベルが破損したりして読めなくなった場合やラベルの貼ってある部品を交換する場合は新しいラベルを「**お買いあげ先**」に注文して購入し貼り替えてください。




①




・尚，コンバインの「**ラベル位置と表示内容**」はコンバインの取扱説明書を参照ください。

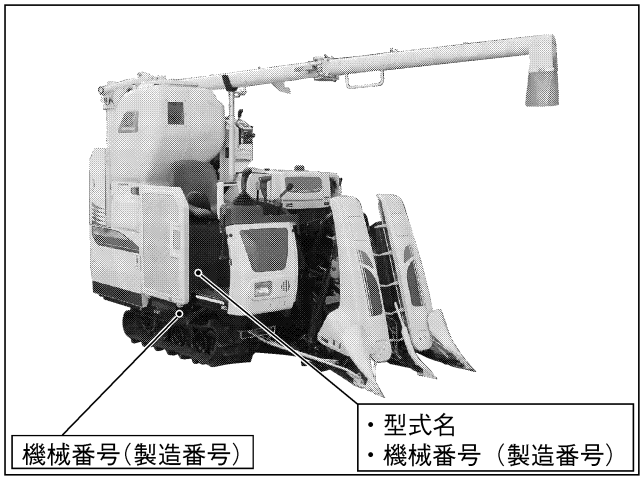
| No | 部 品 名 称 | 部 品 番 号 |
|---|---|---|
| ① | ケイコクラベルノッタヒモ | 0960 3200 030 |

# ご使用まえに

## 1．保証とサービスについて

・この機械の保証はコンバインの保証書で保証いたします。ご使用まえによくお読みください。
・この機械のサービスについてのお問い合わせや部品などのご用命のときは「**お買いあげ先**」にご相談ください。その際「**型式**」・「**機械番号（製造番号）**」をお知らせください。
なお，機械が不調の時はコンバインの「**機械番号（製造番号）**」もあわせてお知らせください。




**・補修用部品の供給年限について**

・この製品の補修用部品の供給年限（期間）は，製造打ち切り後 9 年といたします。
ただし，供給年限内であっても，特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。

・補修用部品の供給は，原則的には，上記の供給年限で終了いたしますが，供給年限経過後であっても，部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

**・機械の使用目的について**

・機械はコンバインに取付けて稲，麦の排ワラを結束する作業にご使用ください。その他の目的では使用しないでください。（適用コンバイン以外には取付けないでください。）
・機械を使用目的以外の作業に使用したり，改造したりした場合は保証の対象となりません。詳細はコンバインの保証書をご覧ください。

⚠警告
◆機械を改造しないでください。改造すると本来の機能を発揮できないばかりか，人身事故の原因となることがあります。
◆ノッタを取付けたまま路上走行することは「道路交通法」に違反しますので，路上走行時にはノッタを取外してください。

# 2．仕様について

## 1．ノッタの仕様と適用コンバイン

・ノッタKN－M13，KN－M217の主な仕様と適用コンバインは次表のようになっています。

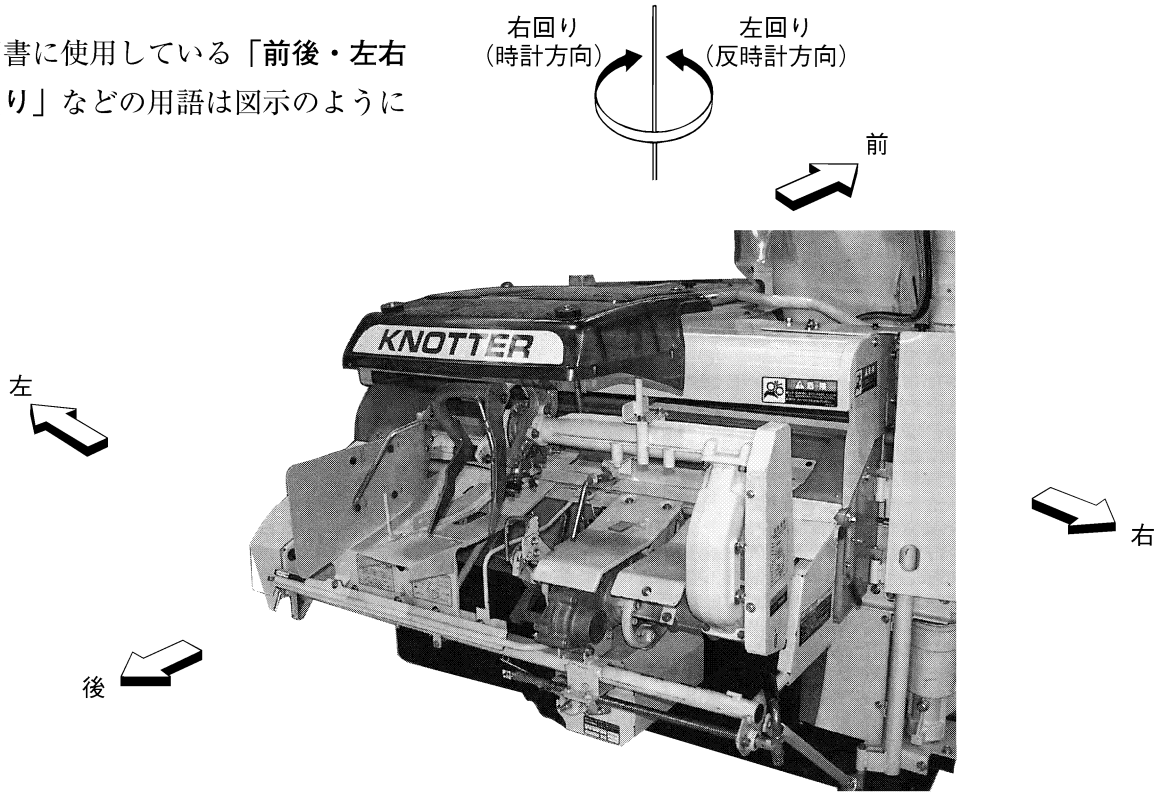
| 型　　式 | 仕　　様 | | | 適用コンバイン |
|---|---|---|---|---|
| | かき込み | 束の大きさ | 切断・結束の切替え | |
| KN－M13 | 4連パッカ | 3段調節 | 切替え可能<br>（カッタ・排ワラ切替レバー及び排ワラレールの出し入れ操作で行ないます。） | 8型<br>11型（G）<br>13型（G）<br>S15型（G）<br>（2001年生産以降に適用） |
| KN－M217 | | | 切替え可能（運転席左のレバーで操作。） | 213型・215型・217型 |

（詳細な仕様は27ページの「**主要諸元**」を参照ください。）

品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行うことがあります。その際には，本書の内容および写真・イラストなどの一部が，本製品と一致しない場合がありますので，ご了承ください。

# 3．用語について

① この取扱説明書に使用している「**前後・左右・右回り・左回り**」などの用語は図示のように決めています。




② **マークの説明**

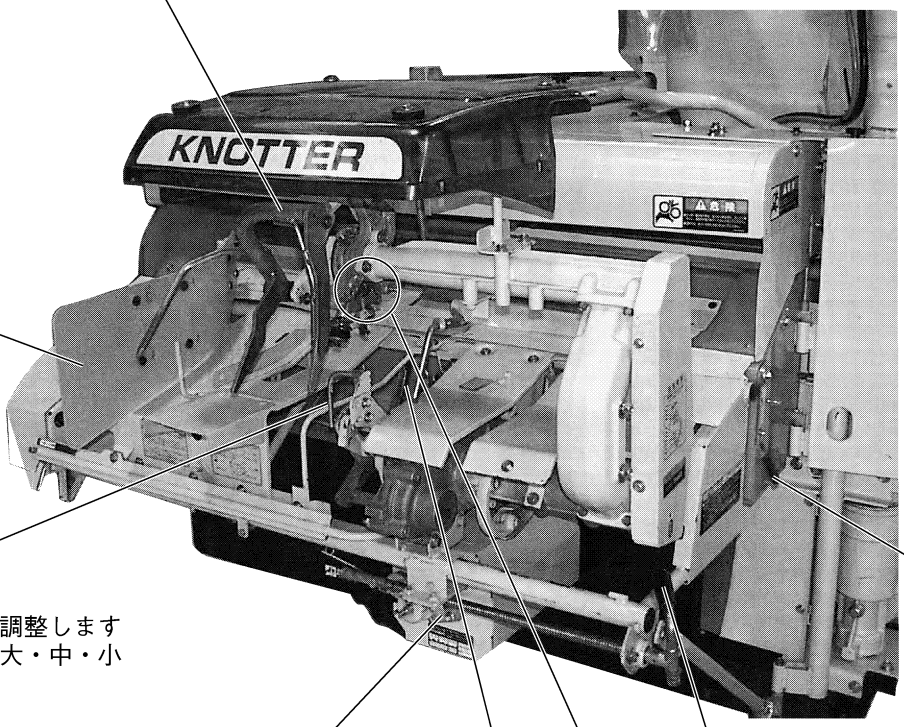
この取扱説明書ではその都度守っていただきたい事柄を次のマークを使用して説明しています。

・危険 警告 注意 ……安全上重要な事項を3段階に分けて説明していますので必ず読んでください。

・**取扱いのポイント** ……機械の性能を最大限に発揮するための説明です。守らないと故障の原因になることもあります。

# 各部のはたらき

## 1．各部の名称とはたらき




スイーパ
結束たばを放出します

株元そろえ板
結束たばの
株元をそろ
える板です

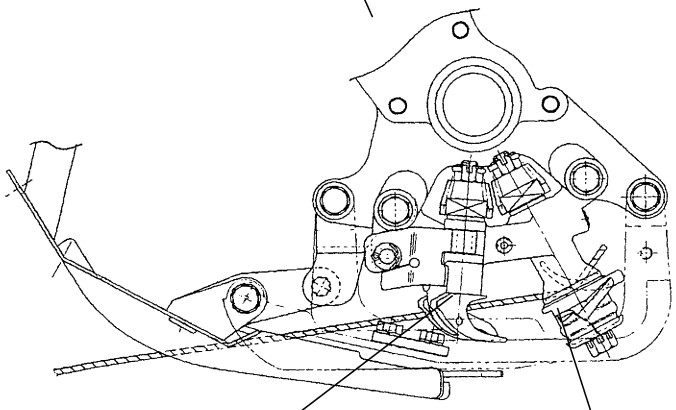
ドア
たばの大きさを調整します
たばの大きさは大・中・小
の3段階です

標準ひも用バスケット
ひも玉を収納します
ひもは，PP，サイザル，
ジュートひもが使用できます

かき込みパッカ

ノッタスライドハンドル
結束位置を調整します

排ワラ・カッタ
切替レバー
結束（ノッタ）か
切断（カッタ）に
切替えます

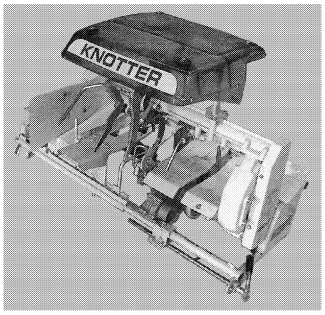
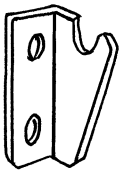
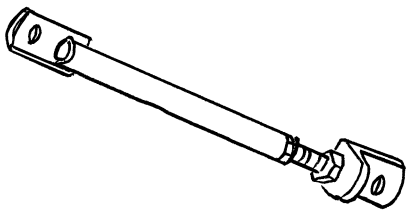
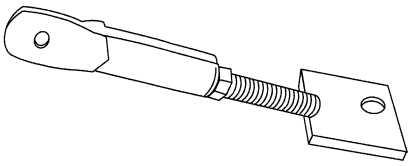
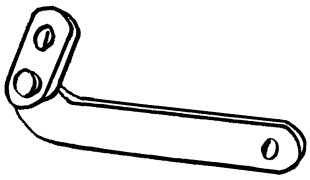
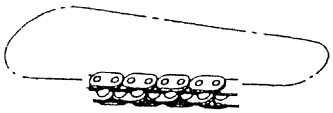
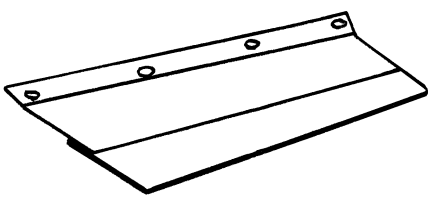


ビル
ひもを結ぶ爪

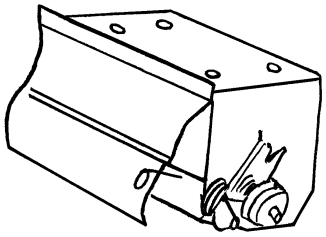
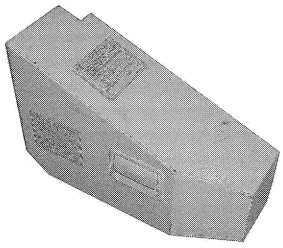
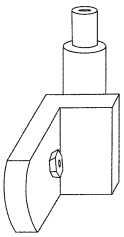
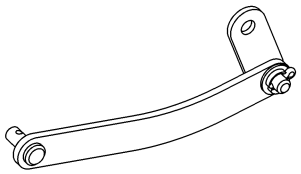
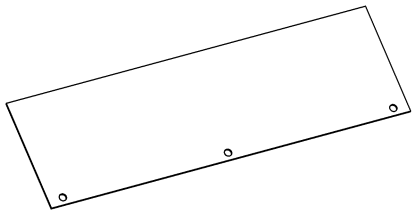
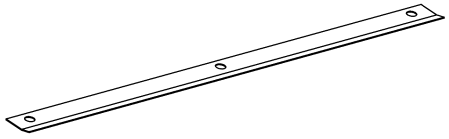
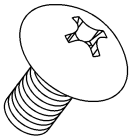
ひもホルダ
結束ひもの端を
保持する装置

# ノッタの取付け要領

## 1．ノッタ取付け部品の明細

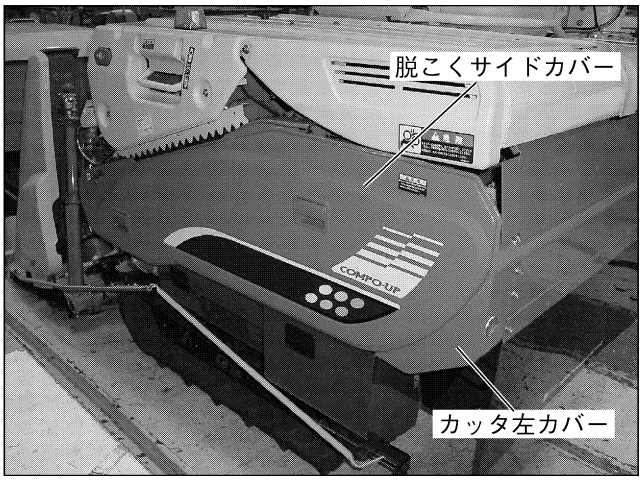
| No. | 部品名称 | 個数 | 取付け部品と数量 | 外　観　形　状 |
|---|---|---|---|---|
| ① | ノ ッ タ 本 体 | 1 | 大平座金付ボルト<br>（M8×20）…… 2 個 |  |
| ② | ブ ラ ケ ッ ト | 2 | |  |
| ③ | ス テ ー R | 1 | 大平座金付ボルト<br>（M8×25）…… 2 個 |  |
| ④ | ロッド組立品 | 1 | 割ピン（φ2.5×12）… 1 個<br>割ピン（φ2.5×16）… 1 個<br>ワッシャ（M6用）…… 1 個<br>ワッシャ（M8用φ15）…… 1 個 |  |
| ⑤ | プレート組立品 | 1 | 平座金付ボルト<br>（M6×16）…… 1 個 |  |
| ⑥ | チ ェ ン | 1 | |  |
| ⑦ | ガイドプレート<br>組 立 品 | 1 | トラスコネジ…… 4 個<br>（M6×12） | <br> |

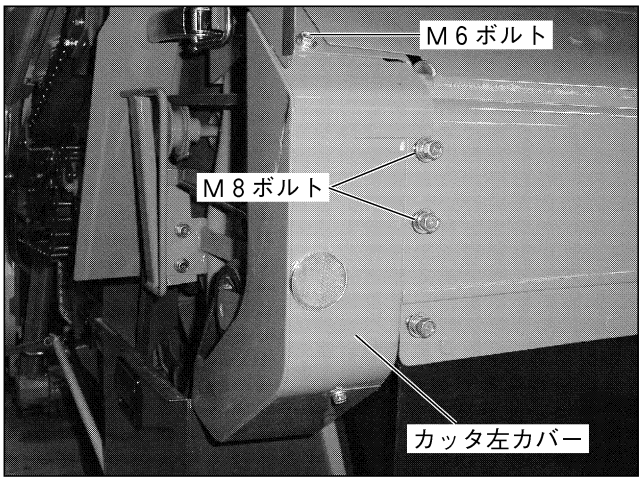
## ノッタの取付け要領

| No. | 部品名称 | 個数 | 取付け部品と数量 | 外　観　形　状 |
|---|---|---|---|---|
| ⑧ | スプロケット12 | 1 | |  |
| ⑨ | シャーピン | 3 | $\phi$2.9×39 |  |
| ⑩ | バスケット組立品 | 1 | 平座金付ボルト<br>（M8×20）……4個 |  |
| ⑪ | ノッタサイドカバー | 1 | |  |
| ⑫ | ステー用ブラケット | 1 | バネ座金付ボルト<br>（M8×20）……1個<br>ワッシャ<br>（M8用$\phi$18）……1個 |  |
| ⑬ | プレート組立品B | 1 | スーパーディスクカッタ<br>SD217－31に装着用 |  |
| ⑭ | プレートA | 2 | スーパーディスクカッタ<br>SD13－31，SD217－31に装着用 |  |
| ⑮ | プレートB | 2 | スーパーディスクカッタ<br>SD13－31，SD217－31に装着用 |  |
| ⑯ | トラスコネジ（M6×12） | 6 | スーパーディスクカッタ<br>SD13－31，SD217－31に装着用 |  |

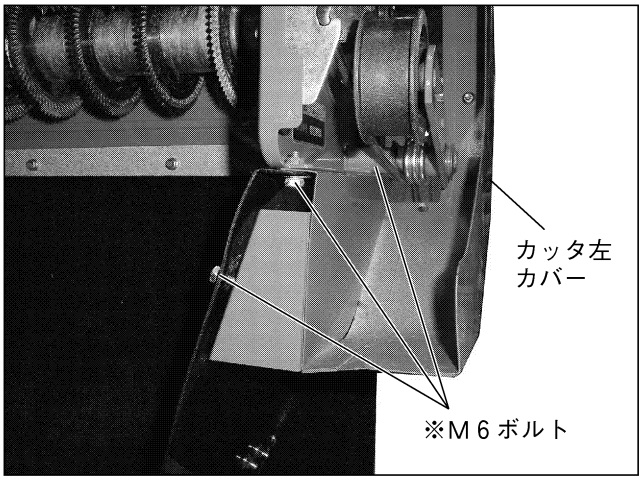
# 2．コンバイン側の準備

❶　脱こくサイドカバーを取外し，カッタ左カバーを外します。

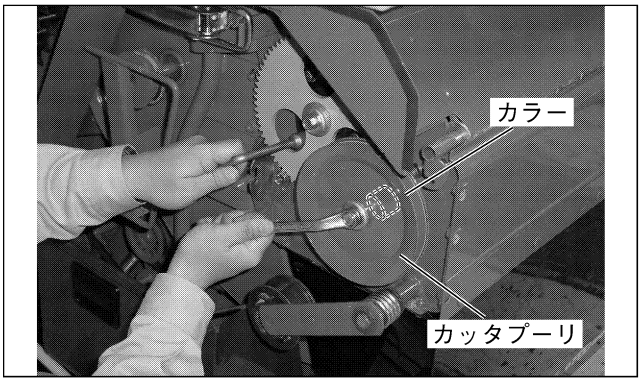


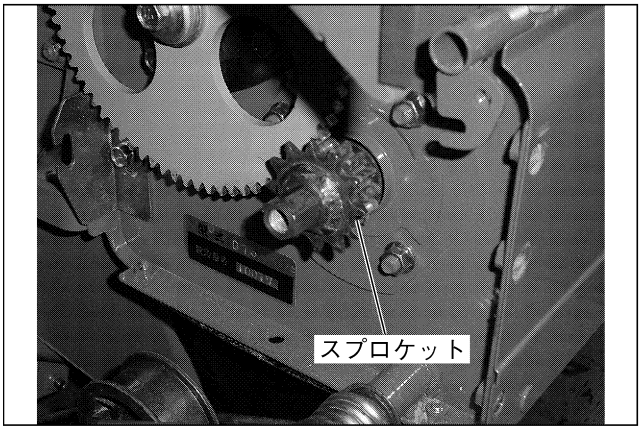




※カッタ内側のＭ６ボルトを外す時は，カッタをオープンし，ストッパで固定します。(22ページ参照)



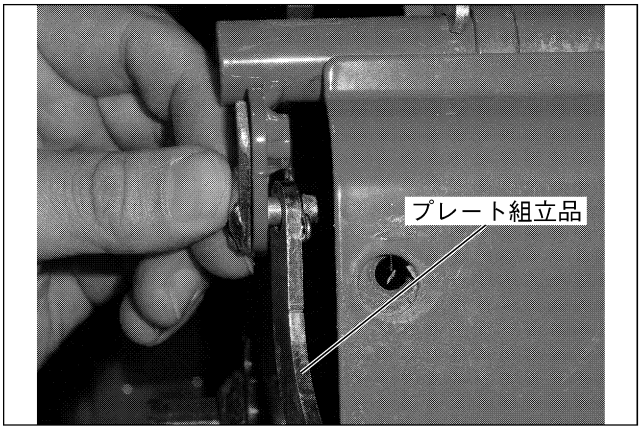

❷　カッタプーリ，カラーを外し，スプロケット12を取付けます。

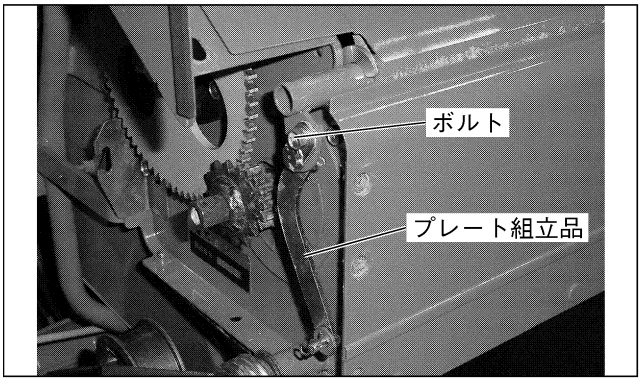



❸　プレート組立品をＭ６ボルトで取付けます。

**・〈標準機及びスーパーディスクカッタ（SD13ー31）にノッタを装着の場合〉**



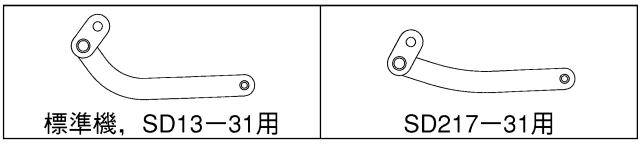



**・〈スーパーディスクカッタ（SD217−31）にノッタを装着の場合〉**

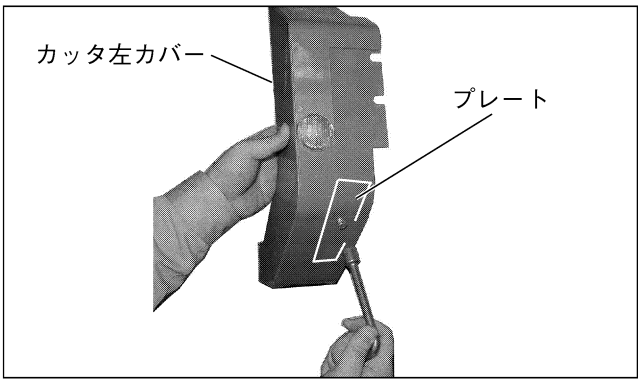
❸の写真のプレート組立品の代りにプレート組立品B⑬部品を取付けます。

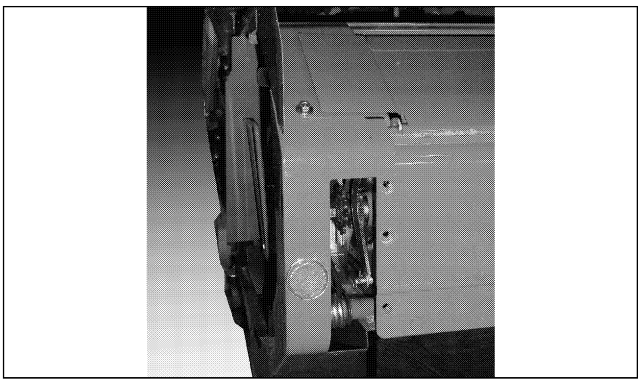
**取扱いのポイント**

**●プレート組立品の標準機，SD13−31用とSD217−31用は取付部品が異なりますのでご注意ください。**




❹　カッタ左カバーよりプレートを外し，取付けてあったボルト（M６×４個）で固定します。
（７ページ※印参照）



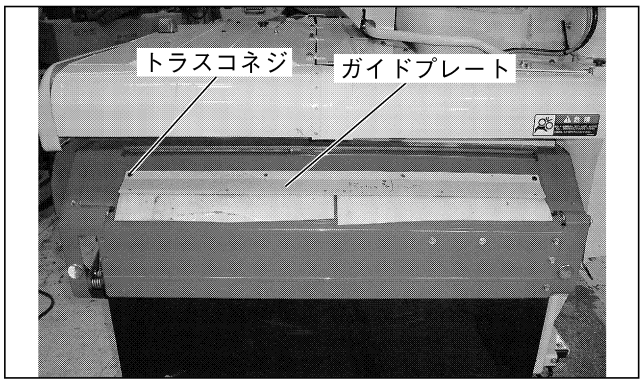



**取扱いのポイント**

**●取外したプレート，ボルトはノッタの取外し時に再び取付けますので，大切に保管してください。**

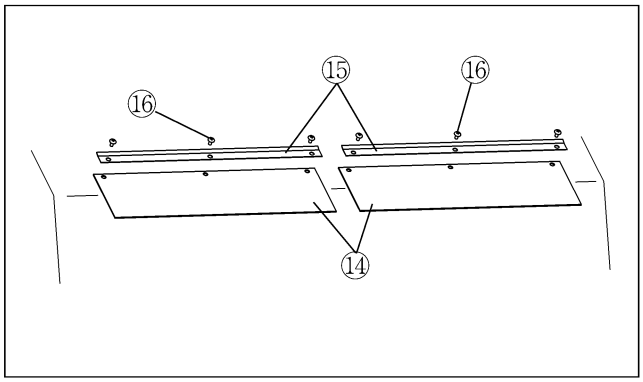
❺　**・〈標準機〉**

ガイドプレート組立品をトラスコネジ（M６）４本にて取付けます。

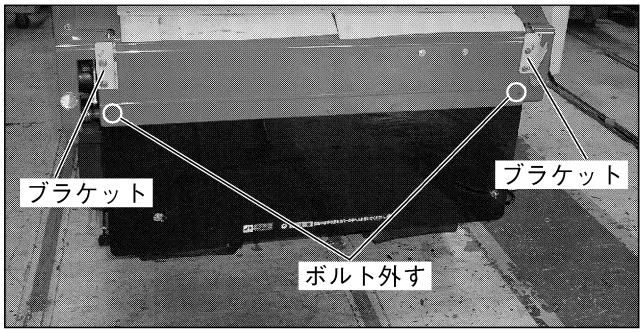



**・〈スーパーディスクカッタ（SD13−31・SD217−31）にノッタを装着の場合〉**

プレートA⑭，プレートB⑮をトラスコネジ⑯で取付けます。

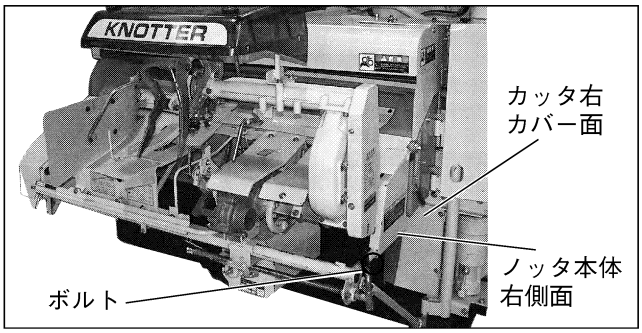



❻　２ヶのブラケットは左右２ヶ所に，取外したボルト（４本）で取付けます。また，その下方のM８ボルトは取外します。

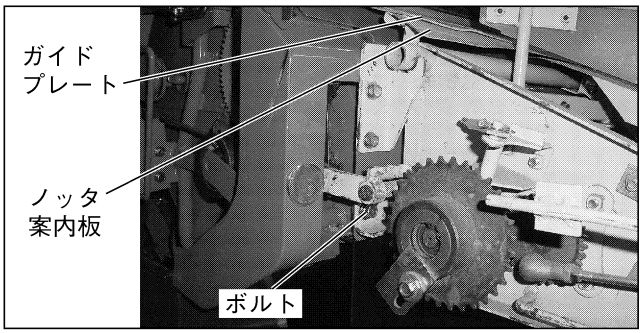


# 3．ノッタの装着のしかた

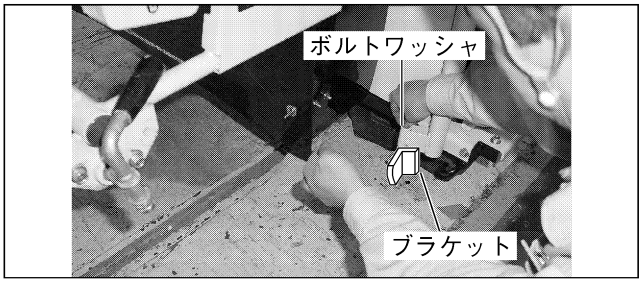
❶　ノッタ本体右側面とカッタ右カバー面が平面になるように合わせ，ノッタ本体をカッタのブラケットに引っかけて，M8ボルト2本で固定します。



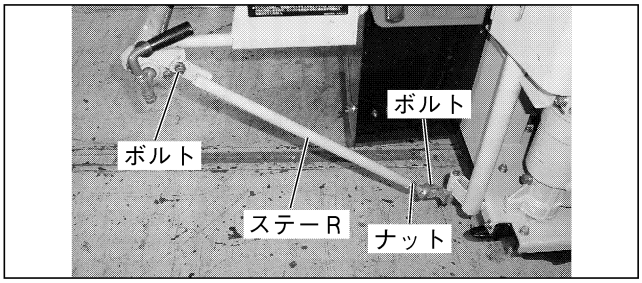

※ガイドプレートは，ノッタ案内板の上に乗るようにしてください。




❷　ステー用ブラケットをボルト（M８×20）で取付けます。

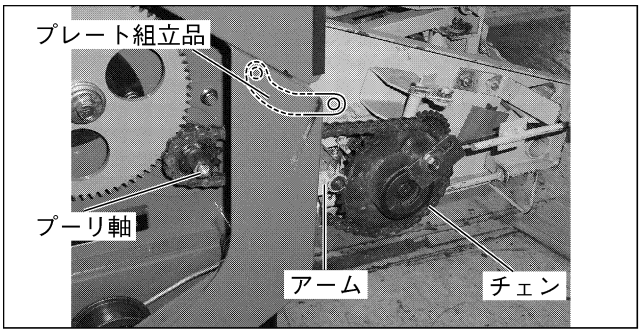



❸　ステーRを調整しM８ボルト，２個にて締付けます。

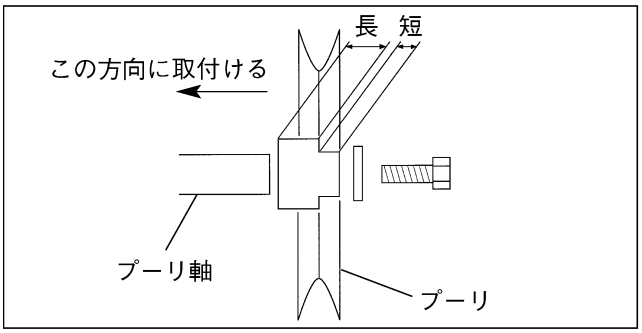



● ステーRの長さ調整はナットをゆるめ，ステーRを回して調整します。調整後は,ナットを締めます。

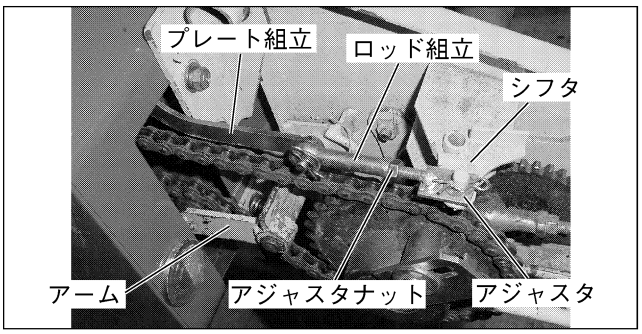
❹　プレート組立品をアームの上側に乗せて，チェンをかけます。プーリ軸にカッタプーリを取付け，コンバイン側の準備手順❷で外したM10ボルトで締付けます。




［カッタプーリ取付方向］




❺　ロッド組立品を「ロッド組立の取付け調整要領」（次ページ）の通り調整してからプレート組立品と連結します。



「ロッド組立の組付け調整要領」

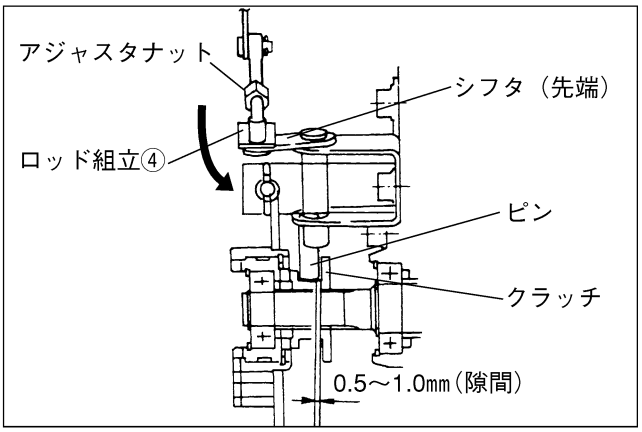
⑴[８型，11型，13型，S15型]

- 機械右側後方の排ワラ・カッタ切替レバーを《ドロッパ》位置にします。

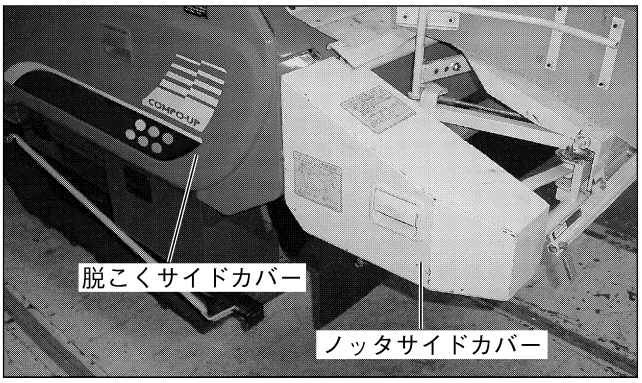
[213型，215型，217型]

- 運転席左の排ワラ・カッタ切替レバーを《排ワラ》位置にします。

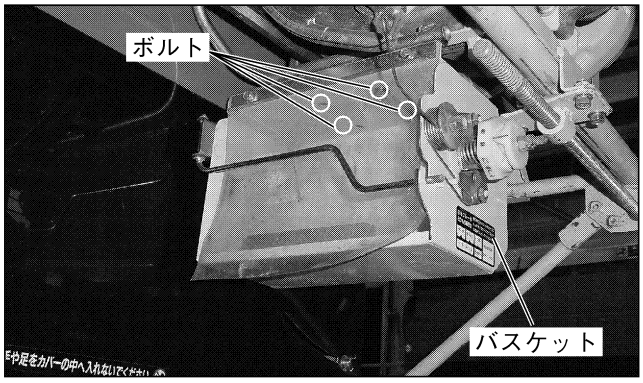
⑵ シフタの先端を矢印方向に押した時，クラッチとピンのスキマが「0.5〜1.0㎜」になるよう，ロッド組立のアジャスタナットをゆるめてからアジャスタを回して隙間を調整してください。調整後はアジャスタナットをしめつけてください。




❻ カッタ駆動ベルトを掛け，脱こくサイドカバー，ノッタサイドカバーを取付けます。




❼ バスケットをＭ８ボルト，４本にて取付けます。




**取扱いのポイント**

- ノッタの取付けが終わったら，作業に入るまえに装着部品の不備や，ボルト・ナットの締忘れがないか点検してください。
- 機械を平坦な場所に置き，駐車ブレーキをかけて作動確認を行います。
  エンジンを始動し，低速回転しながら排ワラ・カッタ切替レバーを操作します。《カッタ》作業セット位置でノッタが停止し，《ドロッパ》セット位置でノッタが作動するか，また異常音などがないか確認してください。
- 排ワラ・カッタ切替レバーの操作は作業機クラッチレバー「切」で行います。

# 4．ノッタの取外しかた

取外しは，取付けの逆手順で行います。

**⚠警告** 傷害事故防止のために

◆ノッタの取外しは，２人以上で作業を行なってください。

◆ノッタを取外した時は，カッタのカバーを取付けてください。

◆ノッタを取外す時はコンバインを平坦な場所に置き駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し，各部の回転が止まってから行なってください。

# 運転のしかた

## 1．運転まえの点検

### 点検項目

・点検は「**定期点検整備表**」（23ページ）を参考にコンバインと同時に作業前に欠かさず行なってください。
・異常や故障の原因がわからないときや修理しても再発するときは「**お買いあげ先**」に相談し点検を受けてください。

**⚠警告** 傷害事故防止のために

◆点検および注油・調整する時はエンジンを停止し，各部の回転が止まってから行なってください。
◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動してください。

「**運転まえ点検表**」

| No | 場　　所 | 内　　容 | 処　　置 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ノッタの作動部 | ・油がきれていませんか。 | ・ニップル部及び注油穴部に注油する。 | 24 |
| 2 | ノッタ駆動チェン | ・油がきれていませんか。 | ・チェン部に注油する。 | 24 |
| 3 | 結束軸駆動チェン | ・油がきれていませんか。 | ・チェン部に注油する。 | 24 |
| 4 | 株元そろえ板<br>駆動ギヤ | ・油がきれていませんか。 | ・ギヤ部に注油する。 | 24 |

## 2．自動車への積込み・積降ろし

**⚠警告** 転倒事故や傷害事故防止のために

◆コンバインの自動車への積込み・積降ろしは，コンバインの取扱説明書に従って行なってください。
◆自動車にのせるときはノッタを取外してください。

## 3．ほ場への出入り

**⚠警告** 転倒事故や傷害事故防止のために

◆ほ場への出入りのしかたおよびあぜ越えのしかたはコンバインの取扱説明書に従って行なってください。

# 作業のしかた

## 1．作業まえの準備

⚠警告 傷害事故防止のために

◆エンジンを始動する時は，補助者や周囲の人に合図をし各操作レバーが《N》（中立）または《切》であることを確認してください。

◆各部の点検，調整の時は，機械を平坦な場所に置いて駐車ブレーキをかけエンジンを停止して各部の動きが止まってから行なってください。

### 1．作物の条件

つぎの作物は，ノッタ作業はできません。

・極度に倒伏した作物
・泥のついた作物
・ぬれている作物
・軟弱な作物および病害虫にかかった作物

### 2．結束ひもの取扱い

結束ひもは取扱店で「**純正指定ひも**」とご指定のうえお買い求めください。

「**純正指定ひも**」以外のひもを使用すると結束ミスの原因となります。

| 種　　類 | 規　　格 |
|---|---|
| ジュート | 480tex×6（14番手×6） |
| サイザル | S－225 |
| P･P（発泡） | 1440tex（13000デニール） |

**取扱いのポイント**

- 結束ひものはしを引出すときは，「取出口シール」より引抜いて取出します。（結束ひもの包装フィルムは，はがさないでください。）
- 結束ひもは，ぬらさないよう取扱ってください。一度ぬれたひもを使用すると結束ミスの原因となります。
- 結束ひもは，湿気のない風通しのよい場所および直射日光のあたらない場所に保管し，購入後３年以内（ジュートひもは２年以内）にご使用ください。
- 使い残りの結束ひもを使用するときは，ひもの取出し方向を間違えないようにし，「ひもからみ」のないようにしてください。

### 3．結束ひもの通しかた

⚠警告 傷害事故防止のために

◆２人作業でひも通しをする場合は，合図をして確認してから行なってください。

◆結束装置にひもを通す時は，各レバーを「切」にしてエンジンを停止し，各部の動きが止まってから行なってください。

◆ニードル先端から引出したひもは，スイーパ（放出うで）から１ｍ以上はなれた所で補助者に手でもってもらい，補助者や周囲の人に合図をしてからエンジンを始動し，作業機クラッチレバーを入れてください。

◆エンジン始動時，機械の近くにいるとスイーパが回転した時，手や身体に衝突し負傷することがあります。

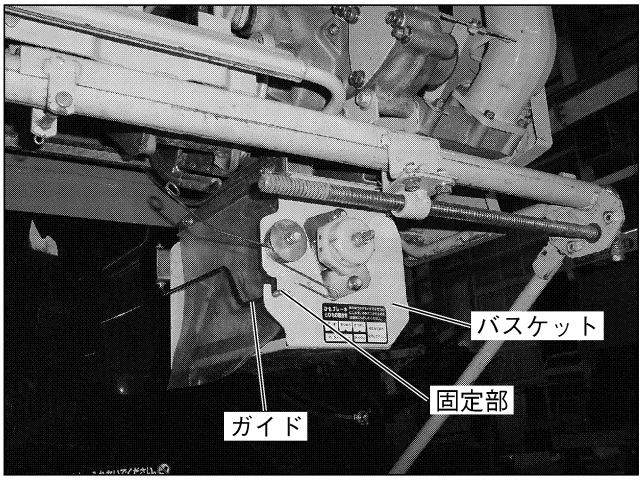
結束ひもはつぎの要領で通します。

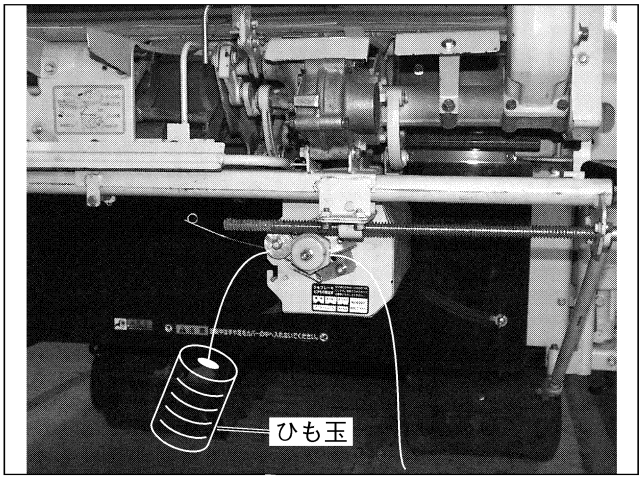
❶ バスケットはノッタケースの下方にあります。

・バスケットのガイドを開きます。

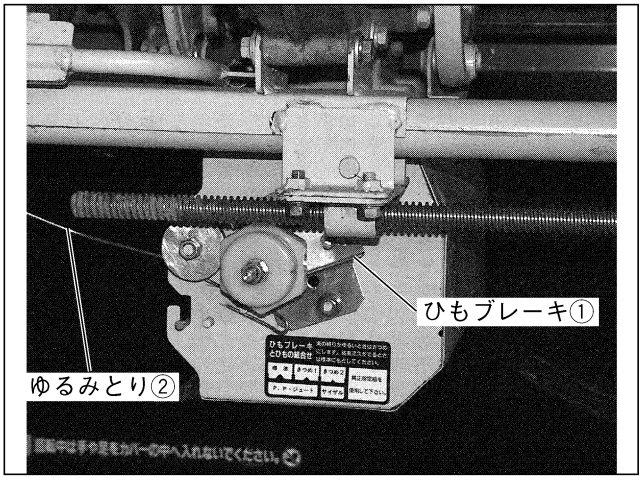
・ひもをバスケットに入れる前に，ひも通し穴を通します。

・ひもをバスケットに収納しガイドにて固定します。

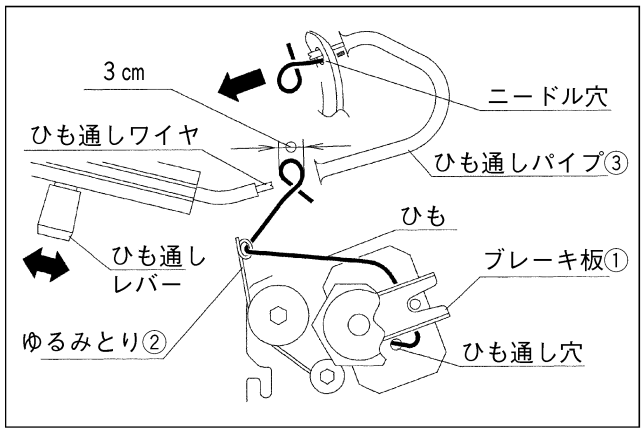


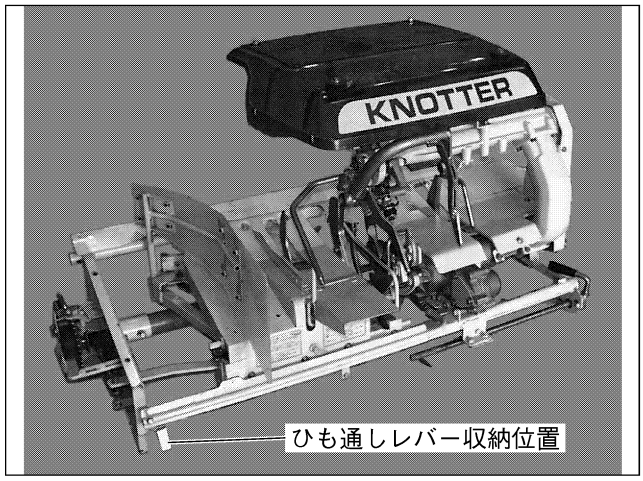

❷ 通し穴より引出したひもは，ひもブレーキ①，ゆるみとり②を通した後，１～1.5m引出します。



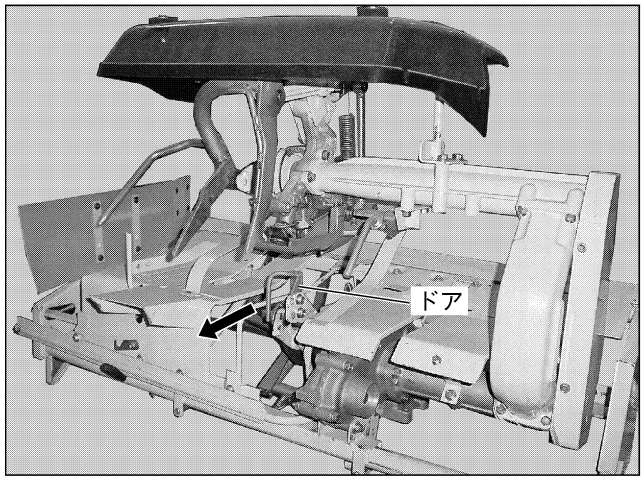

❸ ひもの端に３㎝程度の輪を作り，ひも通しパイプ③の口元に当て，ひも通しワイヤ先端の「**フック**」に引っかけてひも通しレバーで押込みます。



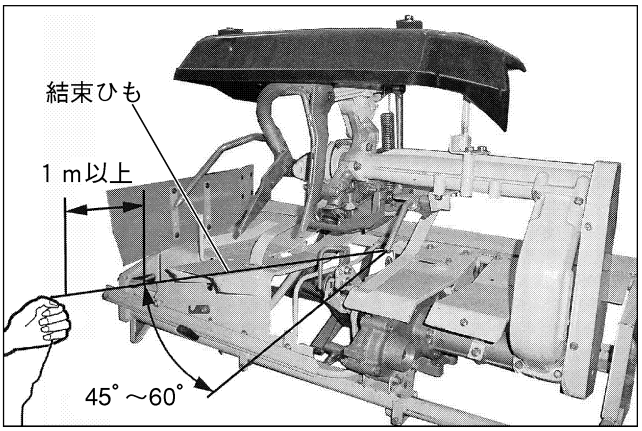

❹ ニードル穴を通ったひもの端を引出します。ひも通しレバーを収納位置に戻し，ひも通しワイヤを収納します。



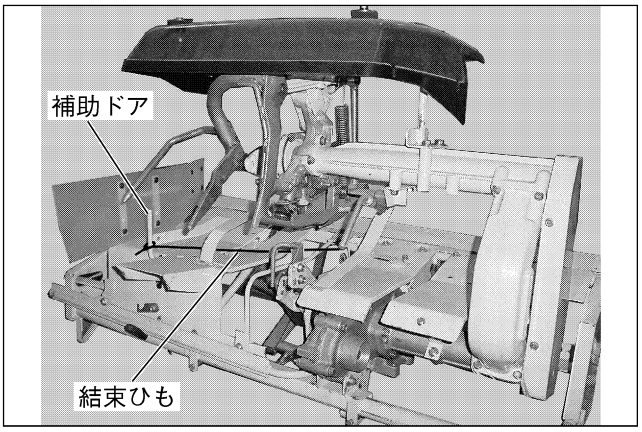

❺ ドアを矢印方向に回動させると「**カチン**」と音がしてクラッチが入ります。



❻・「**二人作業の場合**」はニードル先端から引出した結束ひもを，コンバイン後方左側45°～60°の角度で持ちノッタ本体から１ｍ以上はなれます。




・「**一人作業の場合**」はニードル先端より引出したひもを補助ドアにくくりつけます。




❼　補助者に合図をしてからエンジンを始動し，コンバインの作業機クラッチレバーを《**入**》にします。(エンジンの始動手順については，コンバインの取扱説明書に従ってください。)

ひもが自動的にホルダにセットされます。

・「**二人作業の場合**」は持っているひもを引抜きます。

・「**一人作業の場合**」は補助ドアからひもを外して引抜きます。

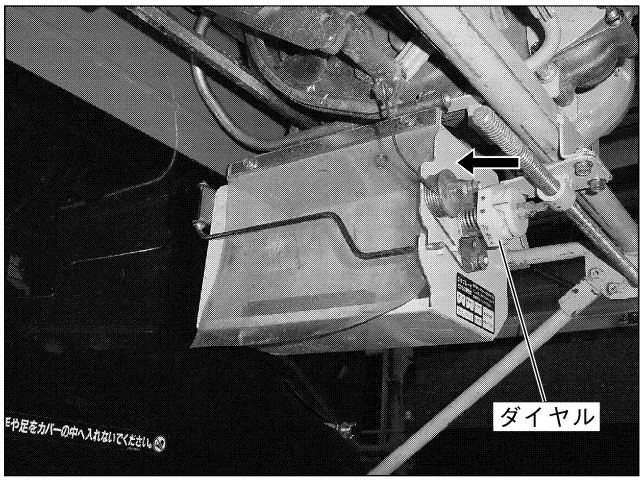
**取扱いのポイント**

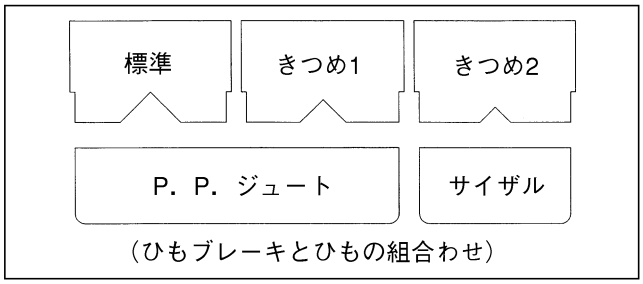
- **スイーパを手で回さないでください。手で回すと故障の原因となります。**
- **作業機クラッチレバーを《入》れてもひもがひもホルダにセットされないときは，作業機クラッチレバーを《切》り，エンジンを停止してから❺項以下の操作をくりかえしてください。**

## ４．ひもブレーキの使い方

ひもブレーキは，使用するひもの種類によってダイヤルを調整します。

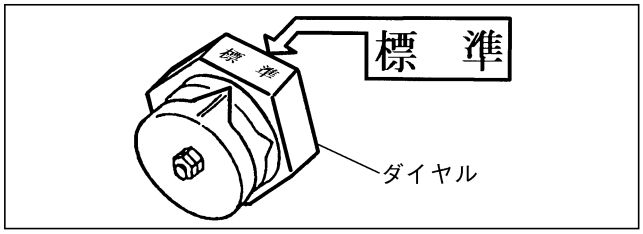
ダイヤルを矢印の方向に押しながら回し，使用するひもにあわせます。



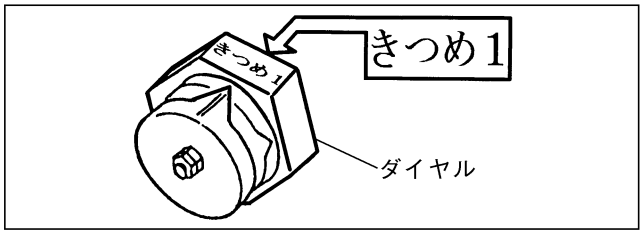

（ひもブレーキとひもの組合わせ）

**・ジュート，Ｐ・Ｐひもの場合**

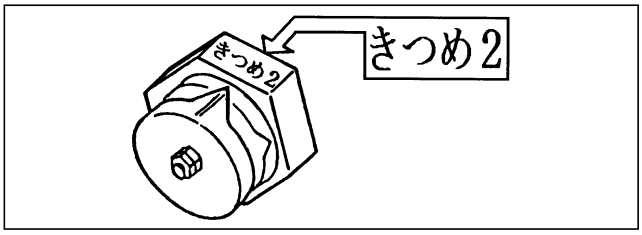



・ジュート，Ｐ・Ｐひもは，ダイヤルを《**標準**》の位置にセットします。

・束のしまりがゆるい場合には，《**きつめ１**》の位置にします。



・サイザルひも使用の場合




・サイザルひもは，ダイヤルを《きつめ２》にセットします。

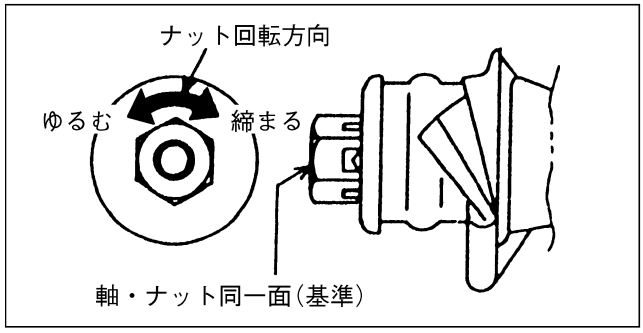
**取扱いのポイント**

- 束のしまりがゆるくないときに《標準》以外を使用すると結束ミスが出ることがあります。結束ミスを起こしたら《標準》にもどしてください。
- ひもの種類を変えたときは，忘れずにひもブレーキダイヤルをあわせてください。
- ひもブレーキの間にゴミ・ひもクズが溜まると結束ミスの原因となります。ときどき点検・掃除してください。

## ５．ひもホルダの調整

ひもの種類によっては，ホルダの保持力が合わなくて結束ミスの原因になるときがあります。そのときには，つぎのように調節します。

・「**軸とナットの面が同一**」が基準です。結束ミスが発生するときは左右方向へ１回転以内で調節します。右方向に回すと締まり，保持力が強くなります。左方向に回すとゆるみ，保持力が弱くなります。



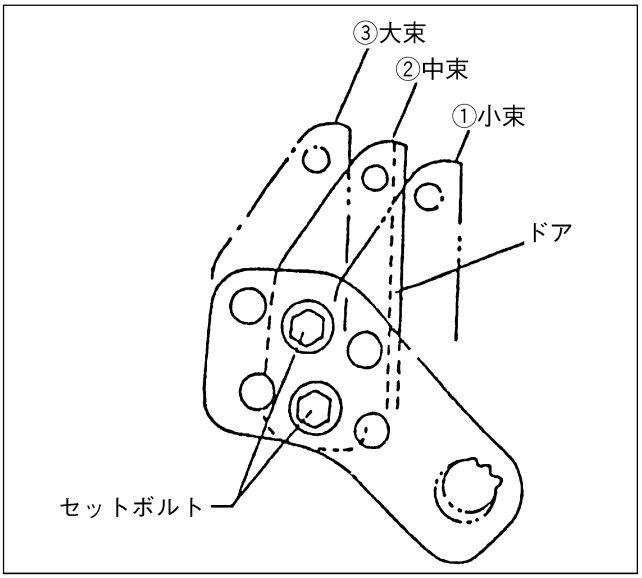

**取扱いのポイント**

- しめすぎると，ひも切れ，ひもクズが発生して結束ミスの原因になります。

## 6．束の大きさ調整

束の大きさは，ドアのセット位置で**大束・中束・小束**の３段階に調整できます。

| ドアセットNo. | 束の大きさ |
|---|---|
| 1 | 小　束 |
| 2 | 中　束 |
| 3 | 大　束 |



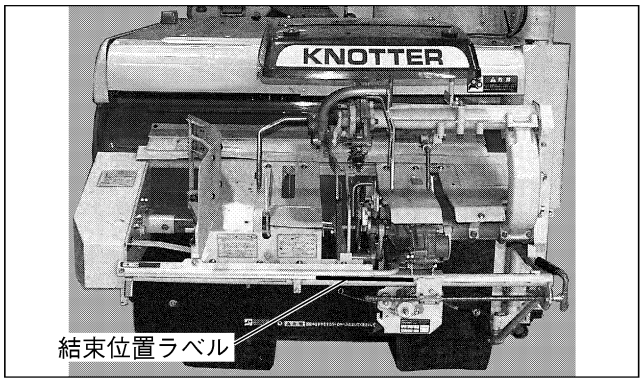

ドア調整は，セットボルトを外し，穴位置を変えてドアを希望の位置にあわせセットします。

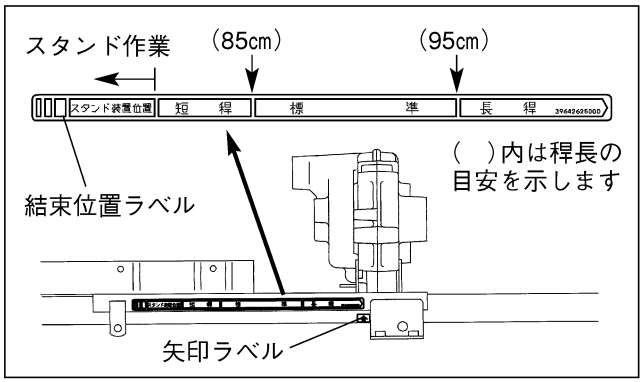
**取扱いのポイント**

- **ドアを調整したらセットボルトは，スパナで確実に締付けてください。**

## 7．結束位置の調整

結束位置は図示の**「刈取りのまえの作物の長さ（稈長）と結束位置」**に合わせて調整します。



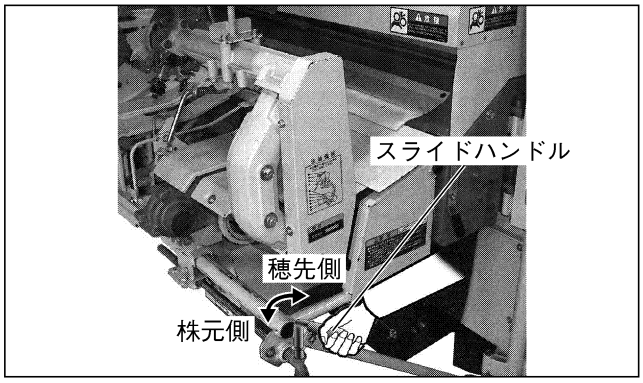




❶　調整方法

⑴　刈取る前の稈長を確認し，結束位置ラベルのどの目盛までスライドさせるか決定します。

⑵　ノッタ右側にあるノッタスライドハンドルを回してノッタをスライドさせます。

⑶　**結束位置ラベル**の目盛と**矢印ラベル**が合うまでスライドさせます。



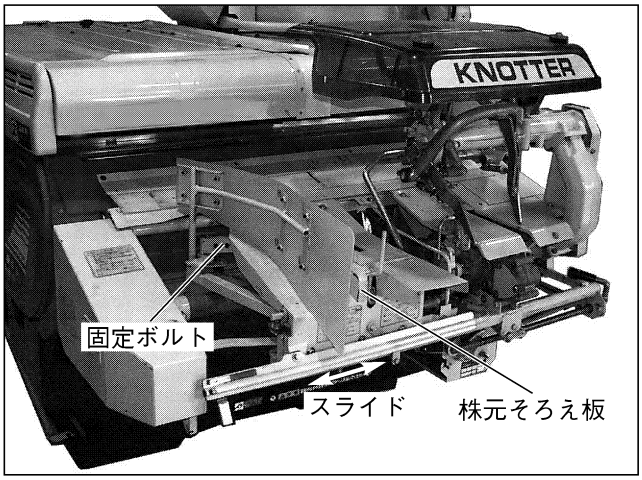

**取扱いのポイント**

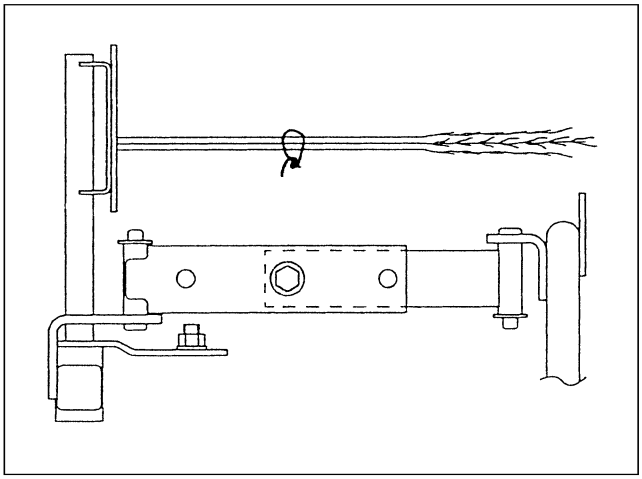
- **株元そろえ板を「40cm」「45cm」にて使用しますとノッタの移動量（スライド量）が少なくなります。**

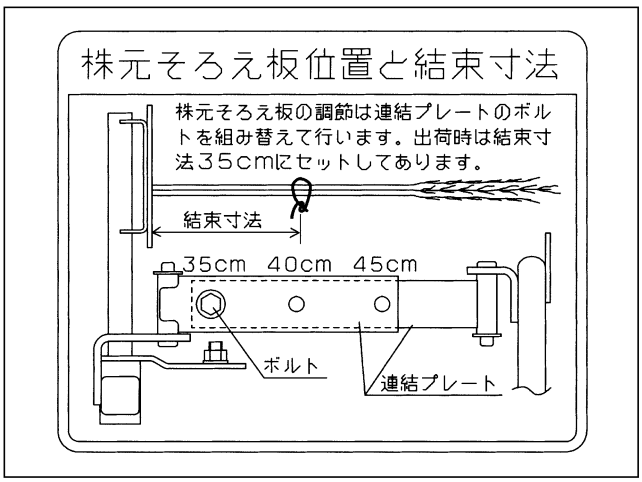
## 8．株元そろえ板の調整

・出荷時株元そろえ板は，株元より35㎝に結束できる位置にセットしてあります。
・株元そろえ板は下記要領により調整します。

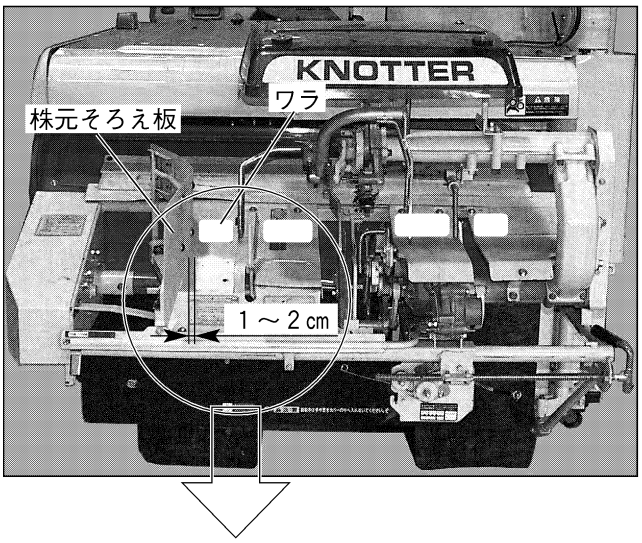
❶　株元そろえ板の固定ボルトをゆるめ株元そろえ板を左右にスライドさせます。

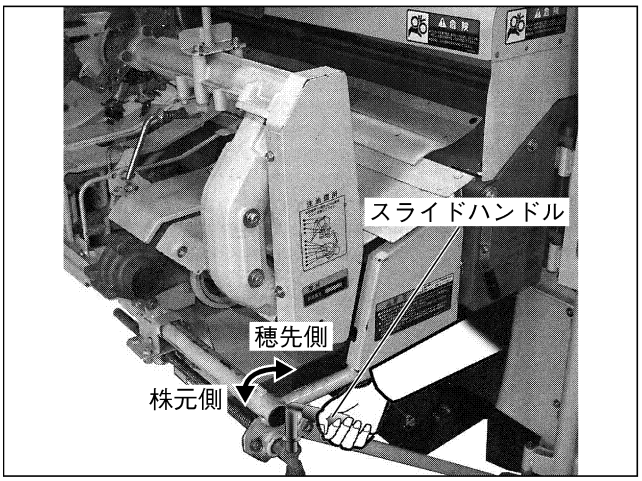


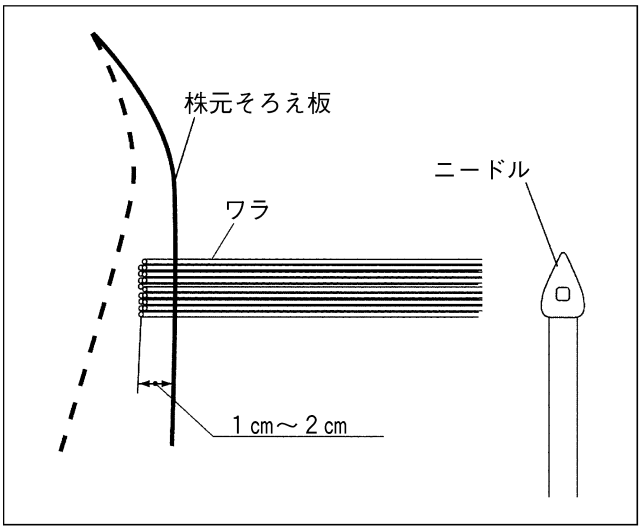






❷　作業中ワラの状態を見ながら株元そろえ板が１㎝～２㎝ワラに接するように，ノッタ右側のノッタスライドハンドルを回してセットします。



# 2．ノッタ作業のしかた

**⚠警告** 傷害事故防止のために

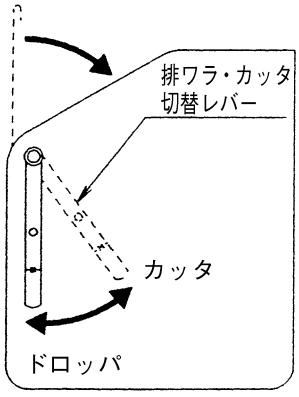
◆各部の点検，調整はエンジンを停止し，各部の動きが止まってから行なってください。
◆作業機クラッチレバー《入》に操作するときは，コンバインの周囲から，人を遠ざけてください。
◆ノッタ部が後方に突出していますので，土手などに接触しないように注意して運転してください。
◆あぜ越え時はコンバインより降りて行ってください。
◆周囲を確認し，機械に人を近づけないでください。回転物に巻込まれたり，旋回時の接触事故などを引起こすことがあります。
◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動してください。

## 1．ノッタ作業のしかた

［8型，11型(G)，13型(G)，S15型(G)］

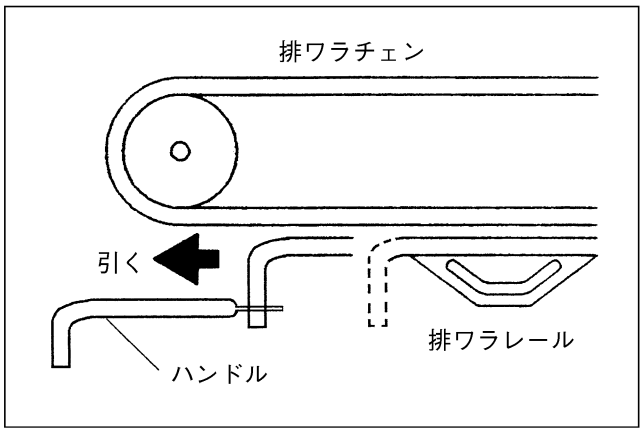
❶ー1

排ワラ・カッタレバーを《**ドロッパ**》位置にします。



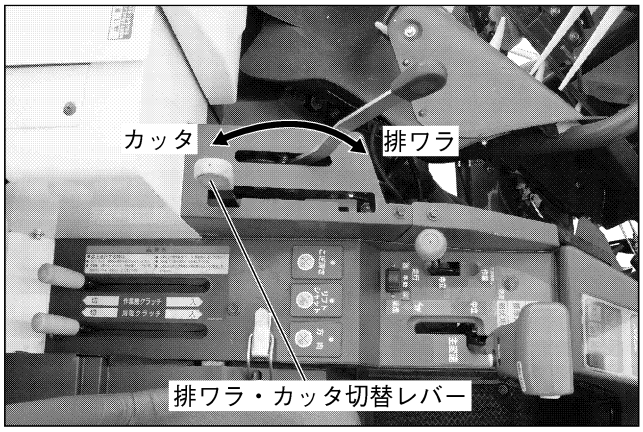

❷ー2

排ワラレール終端を当たりのあるところまでハンドルで引出します。

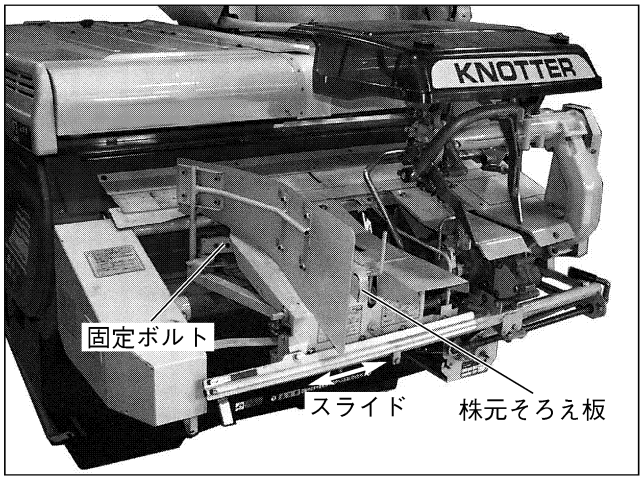


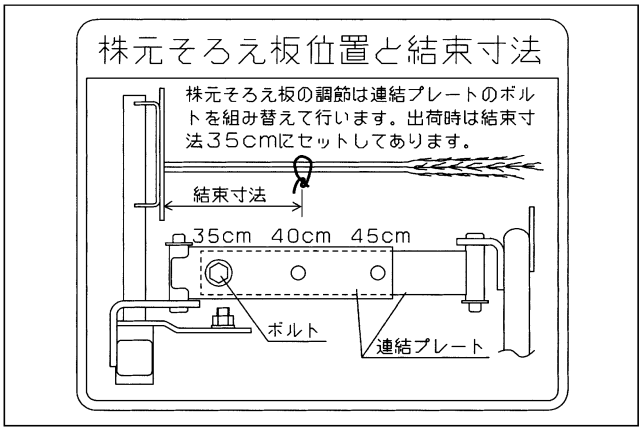

［213型，215型，217型］

❶ 排ワラ・カッタレバーを《**排ワラ**》位置にします。

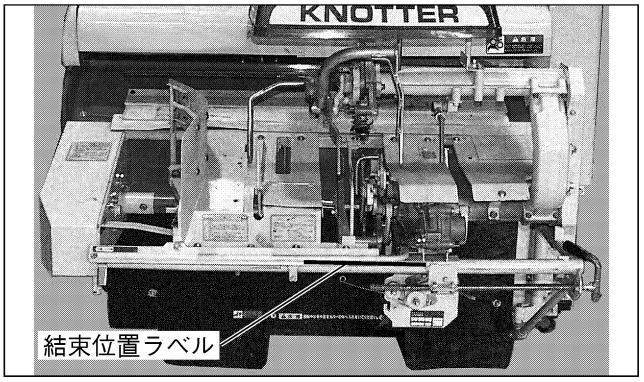


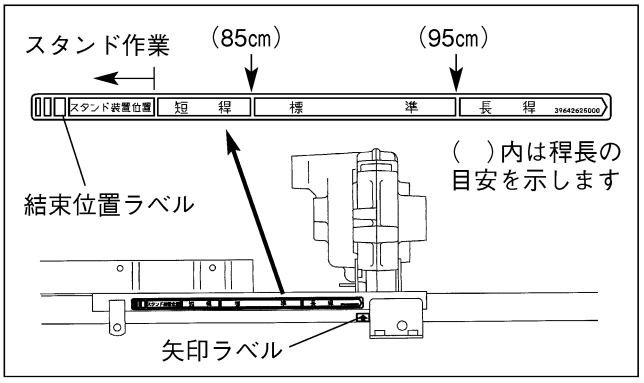

❷ 株元そろえ板の固定ボルトをゆるめ株元そろえ板をスライドさせます。



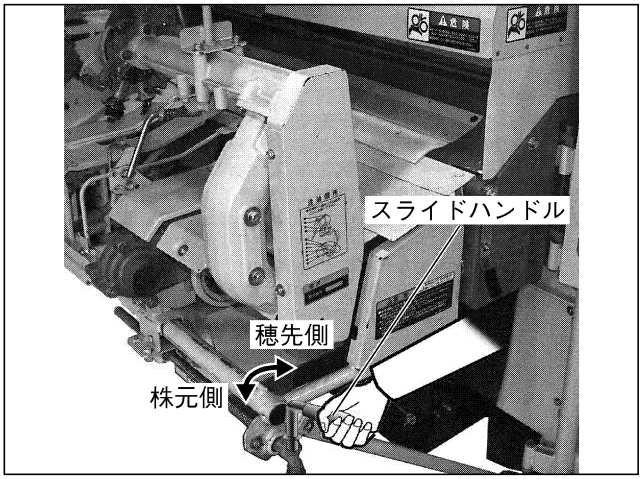



❸ **「刈取りのまえの作物の長さ（稈長）と結束位置」**にしたがって結束位置を調整します。




❹ 結束位置の調整はノッタスライドハンドルにて行ないます。




❺ コンバインの周囲から人を遠ざけた後エンジンを始動し作業を行います。

❻ 刈り始めてから５ｍ程度刈り進んだとき，走行を一旦停止してつぎのことを確認します。

・脱こく部からノッタへスムーズにワラが供給されているか。
・結束位置は適当か。株元そろいはよいか。
・結束した束の大きさは適当か。(大・中・小束)

❼ 株元そろえが悪い場合は，作業中ワラの状態を見ながら株元そろえ板が１㎝～２㎝ワラに接するように，ノッタ右側のノッタスライドハンドルを回してセットします。

ノッタ作業は，ときどきワラの搬送姿勢・排出束・結束ミスなどの状態を確認しながら，異常を発見したときはただちに運転を停止し，エンジンを停止して点検・処置を行います。

**取扱いのポイント**

- **ノッタ作業中，連続して３回以上結束ミスがあったときは，作業を中止して点検を行なってください。**
- **手刈りした作物の脱こくは，穂先から均等に供給してください。**
  **結束したものは脱こくできません。脱こくするときは，結束ひもを切りバラこぎをしてください。**

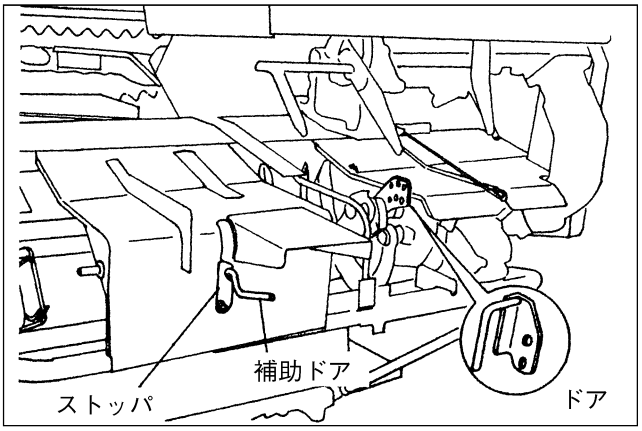
## 2．結束しないワラの排出作業のしかた

結束しないでワラの排出作業を行う場合は次の要領で行います。

❶ 結束ひもを外します。

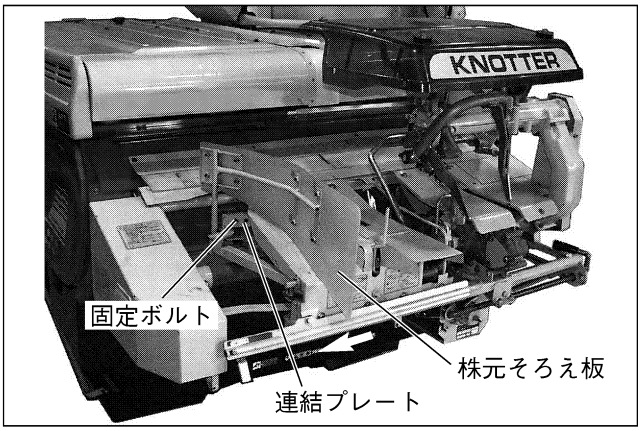
❷ ドアを外します。

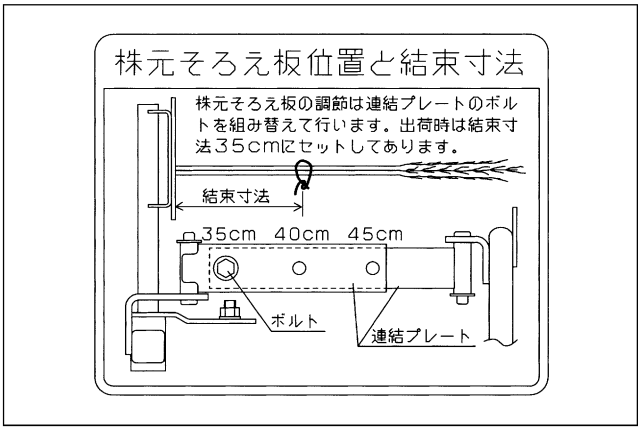
❸ 補助ドアにストッパを掛けて倒します。




❹ ノッタスライドハンドルを回し，ラベルの「**短稈**」位置に移動します。

❺ 株元そろえ板の固定ボルトを外し連結プレート（２個）を外します。株元そろえ板は最株元位置へスライドさせます。



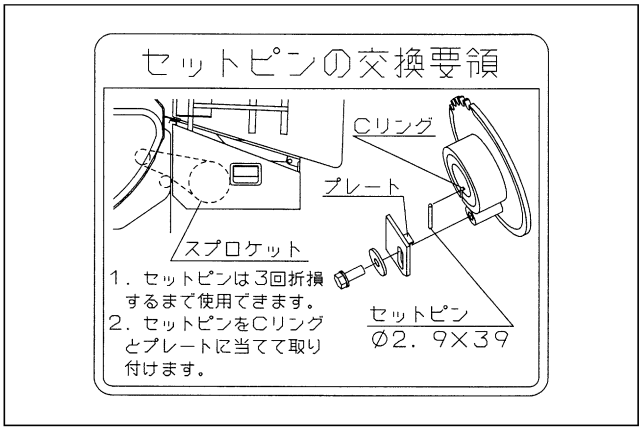

**取扱いのポイント**

- **ドアは外してください。空打ちしますと結束部が摩耗します。**

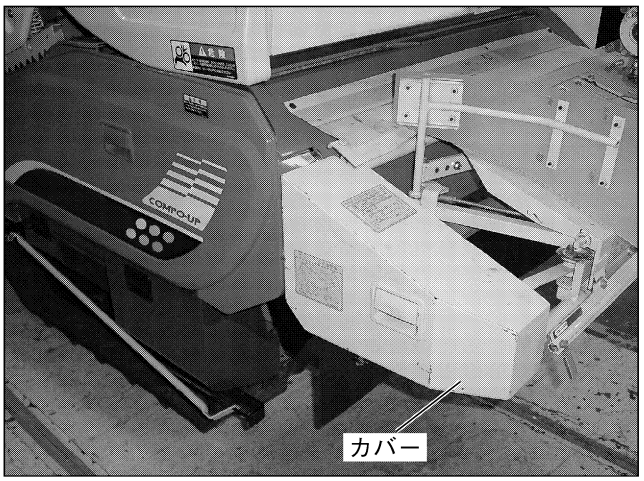
## 3．セットピン（安全ピン）の交換のしかた

作業中，ノッタ部に異常負荷が加わったときは，セットピン（安全ピン）が切れるようになっています。

・エンジンを停止し異常負荷の原因を調べて取除き，セットピン（安全ピン）を交換します。
・セットピン（安全ピン）は，ノッタ部の入力軸に設けてあります。
・セットピン（安全ピン）が折損しますとノッタ全体が回らなくなります。

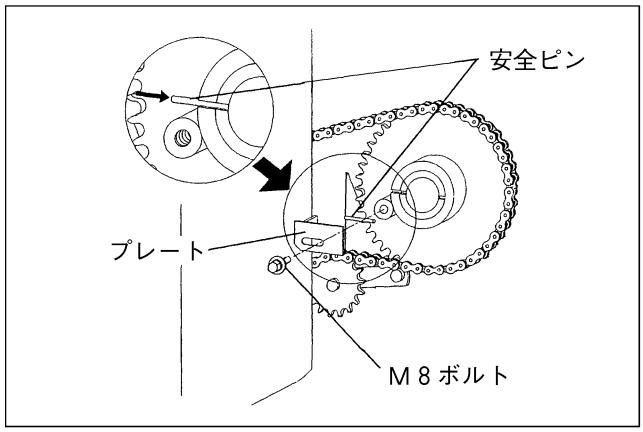



❶ カバーを外します。




❷ Ｍ８ボルトを外しプレート下のセットピン（安全ピン）の切断部分を取出し，溝を合わせた後，矢印方向へ押し固定します。

・セットピン（安全ピン）はスペアが１本で３回使用できます。３回折損したときには，スペアをご使用ください。




**取扱いのポイント**

- **セットピン（安全ピン）は純正品を使用してください。**
- **クギ，針金などは使用しないでください。**
- **セットピン（安全ピン）のスペアはなくさないよう保管してください。**

## 4．カッタオープンのしかた

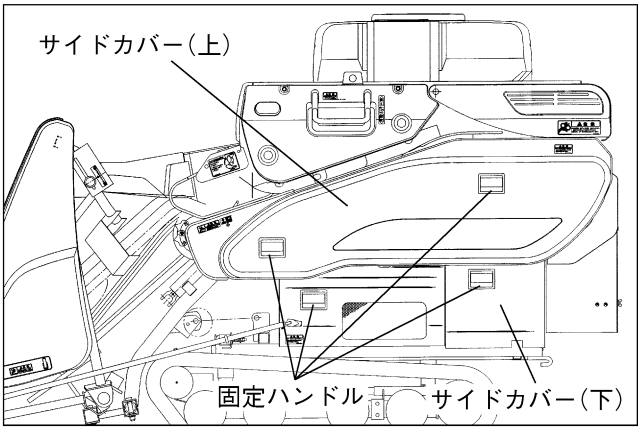
**⚠警告** 傷害事故防止のために

◆カッタをオープンするときは，機械を平坦な場所に置いて駐車ブレーキをかけ，エンジンを停止して，各部の動きが止まってから行なってください。

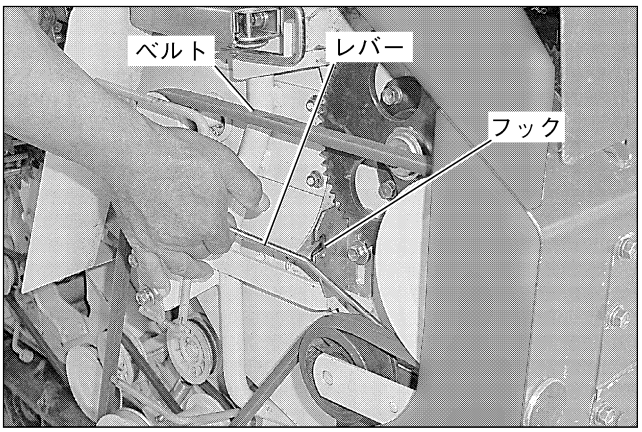
◆カッタをオープンして点検作業等をするときは,ストッパにスナップピンを差込みロック状態にしてください。
ストッパをロック状態にしないとカッタが回動して傷害事故を起こすことがあります。

◆カッタをオープンしたときはカッタ刃に触れないようにしてください。

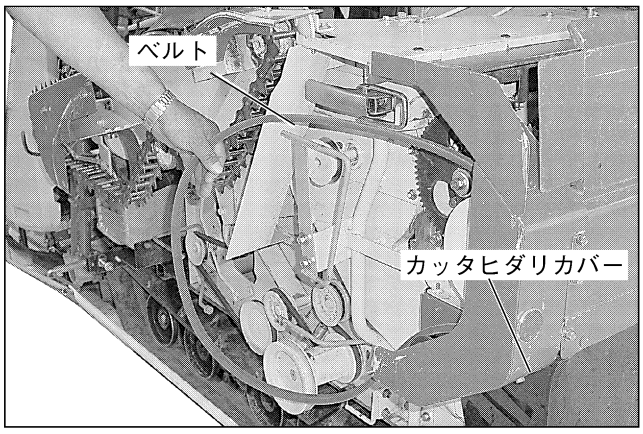
❶ サイドカバー（上）（下）を外します。



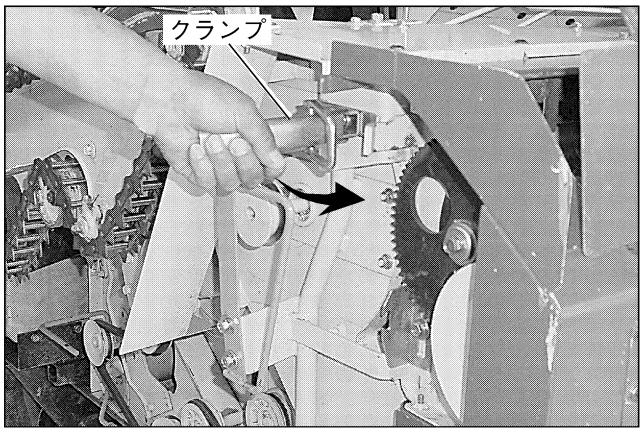

❷ レバーをフックより外してベルトの張りを解除します。



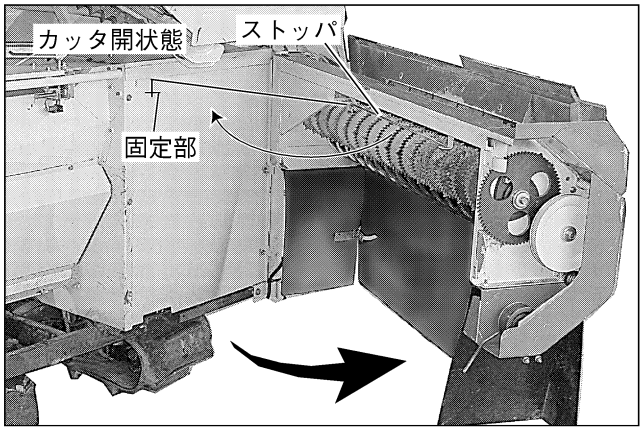

❸ ベルトを外し，レバーをフックに再び掛けます。




❹ クランプを解除し，カッタヒダリカバーを持ち上げる様にして，ゆっくり後方へカッタを回動します。




❺ ストッパを矢印方向に回動し，固定部にかけ，Ｒピンで固定します。




❻ カッタを閉じる時は，逆の手順で行います。
（❺→❶の手順）

# 手入れのしかた

## 1．定期点検整備

・正常な機能を発揮し，いつでも安全な状態であるように**「定期点検整備表」**に従って定期的に点検し，必要により掃除・調整・整備を行います。

**⚠警告** 傷害事故防止のために

◆点検・整備する時は，エンジンを停止し，各部の回転が止まってから行なってください。

◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動してください。

**「定期点検整備表」**（○：点検調整，●：交換）

| 点検項目 | 毎日作業前点検 | シーズン前 | 50アール毎 | 格納時 | 整備内容 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ノッタの作動部 | ○ | ○ | ○ | ○ | オイルニップル，注油穴部に注油する。 | 24 |
| ノッタ駆動チェン | ○ | ○ | ○ | ○ | チェン部に注油する。 | 24 |
| 結束軸駆動チェン | ○ | ○ | ○ | ○ | チェン部に注油する。 | 24 |
| 株元そろえ板駆動ギヤ | ○ | ○ | ○ | ○ | ギヤ部に注油する。 | 24 |
| ビル | | ○ | | | クズを掃除する。 | 25 |
| ひもホルダ | | ○ | | | クズを掃除する。 | 25 |

## 2．注油のしかた

・工場から出荷する時は，注油個所にオイル・グリスは入っています。

・交換したオイルを廃却する時は，**「お買い上げ先」**又は，産業廃棄物処理業者等に相談して所定の規則に従って処理してください。

**⚠警告** 傷害事故防止のために

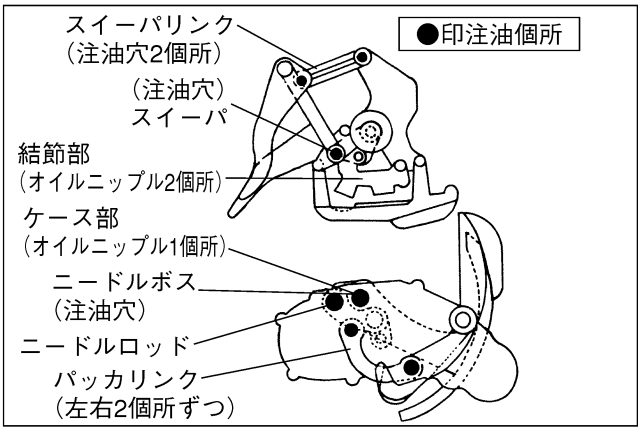
◆給油・注油・点検する時は，コンバインを平坦な所に置き，エンジンを停止し，各部の動きが止まってから行なってください。

**「給油・注油表」**

| 場所 | 容量 | 種類 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ノッタ部オイルニップル及び注油穴部 | 適量 | ギヤオイル API分類GL－4級SAE80W | 24 |
| ノッタ駆動チェン | 適量 | ギヤオイル API分類GL－4級SAE80W | 24 |
| 結束軸駆動チェン | 適量 | ギヤオイル API分類GL－4級SAE80W | 24 |
| 株元そろえ板駆動ギヤ | 適量 | ギヤオイル API分類GL－4級SAE80W | 24 |

## 1．ノッタ各部の注油

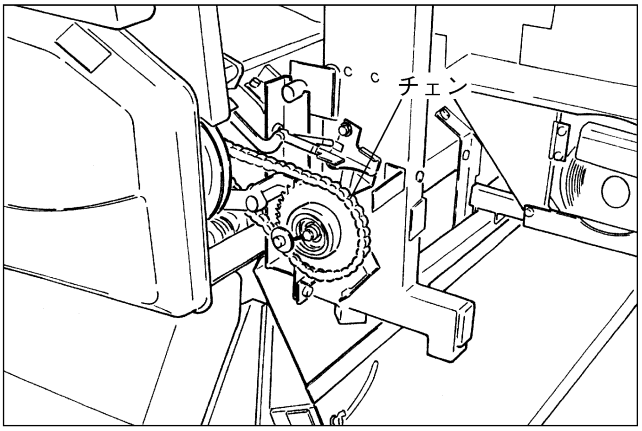
・オイルニップル及び注油穴に注油します。
・ニードルロッド，パッカリンクは●印部ボスの両端に注油します。
・ギヤオイル
・適量注油
・シーズン前，50アール毎，格納時




## 2．株元そろえ板駆動ギヤ

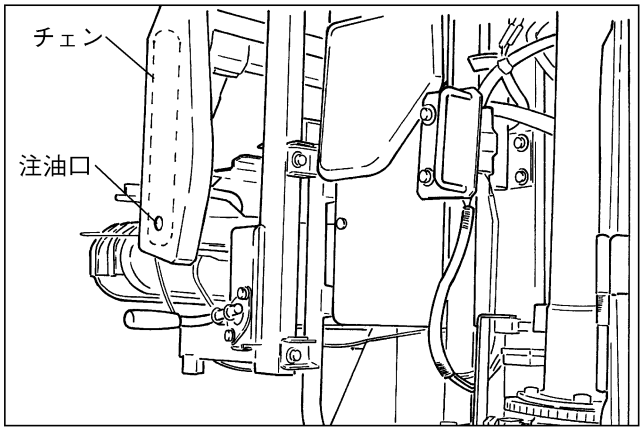
## 3．ノッタ駆動チェン

・チェン部に注油します。
・ギヤオイル
・適量注油
・シーズン前，50アール毎，格納時




## 4．結束軸駆動チェン

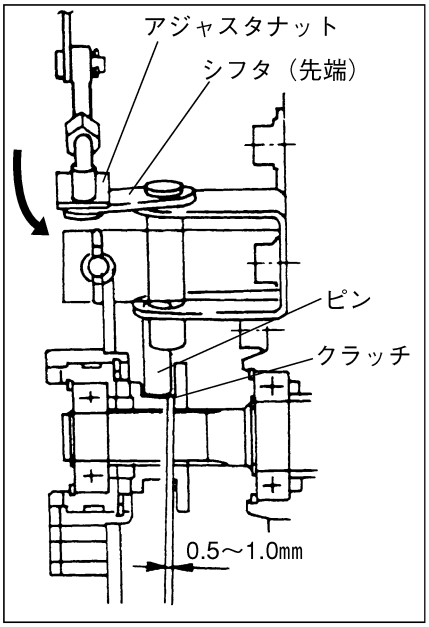
・チェン部に注油します。
・ギヤオイル
・シーズン前，50アール毎，格納時




# 3．各部の点検と調整のしかた

## 1．ノッタ・カッタの切替え調整

❶**点検**…ノッタ作業状態でシフタのピンとクラッチのスキマが「**0.5㎜～1.0㎜**」になっているか確認します。



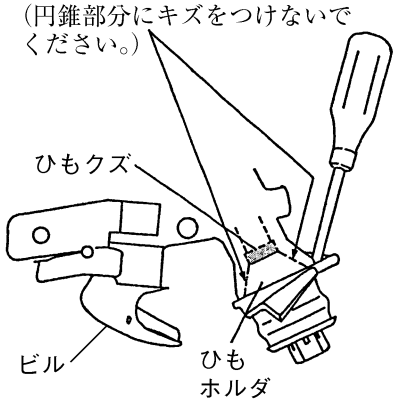

❷**調整**…コンバイン運転席後部の排ワラ・カッタ切替レバーを《**ドロッパ**》にし，シフタの先端を矢印方向に押した時，クラッチとピンのスキマが「**0.5㎜～1.0㎜**」になるようロッド組立のアジャスタナットをゆるめて調整します。

# 不調時の処置

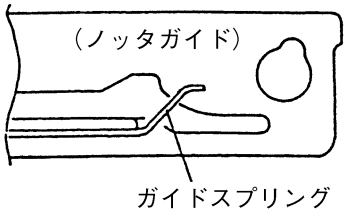
・不調が発生したら，すぐにその原因を調べて処置をし，故障を大きくしないようにします。
・原因がわからない場合や，調整しても再発するときは「**お買いあげ先**」に相談し，点検を受けてください。
・その時は不調の状況とあわせて「**型式**」・「**機械番号**」をお知らせください。

**⚠警告** 傷害事故防止のために

◆作業中に不調が発生した時は，機械は広い平坦な場所に移動して停車し，エンジンを停止し，各部の回転が止まってから行います。
◆取外したカバー類は全て取付けてからエンジンを始動し作業に入ります。

| 不調の状況 | 原　　因（点検個所） | 処　　置 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **1．ノッタが動かない** | ・セットピン（安全ピン）の折損。 | ・何が原因でセットピン（安全ピン）が折損したかを確かめたうえ，セットピン（安全ピン）を交換する。 | 21 |
| | ・ベルトのスリップ。 | ・ベルトの張り調整をする。 | |
| | ・ノッタカッタの切替調整不良。 | ・アジャスタの調整をする。 | 9 |
| **2．結束ミスが発生する** | ・ひもが悪い。（古い，ぬれている，くずれている，純正指定ひもでない） | ・新しい「**純正指定ひも**」と交換する。 | 12 |
| | ・ひもがもつれる。<br>・ひも筒内でもつれる。<br>・ひもの残りが少なく，ひも筒内でもつれる。 | ・正規のひも取出し方向よりひも端を取出す。<br>・新しいひもと交換する。 | 13 |
| | ・ひもの通しかたが間違っている。 | ・正規の通し順序でひもを通す。 | 13 |
| | ・ひもブレーキのセットが間違っている。 | ・ひもブレーキのセットを《**標準**》に合わせる。 | 14 |
| | ・ひもホルダにひもクズがたまっている。 | ・ひもホルダのひもクズを取除く。（㊀ドライバ等でひもホルダを上に持ち上げるとひもクズを取り除けます。）（円錐部分にキズをつけないでください。）<br><br> | ― |

## 不調時の処置

| 不調の状況 | 原　　因（点検個所） | 処　　置 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 2．結束ミスが発生する | ・ひもホルダの保持力が合わない。 | ・ひもホルダを調整する。 | 15 |
| | | ・ホルダスプリング圧を調整する。調整方法については「**お買いあげ先**」にご相談ください。 | ― |
| | ・ビルの保持力が合わない。 | ・ビルスプリング圧を調整する。調整方法については「**お買いあげ先**」にご相談ください。 | ― |
| | ・ガイドスプリングが折損または変形している。 | ・新品のガイドスプリングと交換する。<br><br> | ― |
| 3．束のつながりが発生する | ・結束位置が適当ではない。 | ・結束位置を稈長に合わせてセットします。 | 16 |
| | ・排ワラ搬送部の通路にワラクズがたまっている。 | ・掃除する。 | ― |
| | ・作業のしかたが間違っている。 | ・12～21ページをもう一度読み直す。 | 12～21 |

**取扱いのポイント**

- **ごくまれに結束をしないまま放出される場合は異常ではありません。ただし連続して 3 回以上発生したときは，ただちに作業を中止して原因を調べ，正しい処置をしてください。**

# 付　　表

## 1．主要諸元

| 名　　称 | スライドノッタ | |
|---|---|---|
| 型　式　名 | KN－M13 | KN－M217 |
| 装着本機型式 | 8型,11型(G),13型(G),S15型(G) (2001年以降生産に適用) | 213型・215型・217型 |
| 全　長　mm | 550 | |
| 全　幅　mm | 1,300 | |
| 全　高　mm | 855 | |
| 重　量　kg | 68 | |
| 能　率　分/10a | コンバイン本機に準ずる | |
| 結束方式 | ノッタビル方式 | |
| かき込み方式 | 4連パッカ | |
| 放出方式 | 3連スイーパ | |
| 結束位置　mm | 穂先より300～620mm | |
| 束の大きさ | 3段調節 | |
| 結束ひも | 指定のジュート・PP・サイザル | |

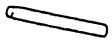
・この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

## 2．アタッチメント（別売り）

次のアタッチメントを基本作業機として準備しておりますのでご利用ください。

| 型　式 | 品　名 | 備　考 |
|---|---|---|
| BW－VM13 | バランスウェイト | 8.5kg<br>ノッタ作業時のバランス調整用<br>刈取部に装着 |

# 3．主な消耗部品

| No | 部品名称 | 部品番号 | 外観 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | シャーピン（セットピン） | 3964 0828 000 |  | |
| 2 | ナイフ | 3115 4414 000 |  | |

・ご用命のときは，「**部品名称**」・「**部品番号**」をお知らせください。

・**ベルトは「純正品」をご使用ください。**

**取扱いのポイント**

●**結束ひもは当社指定の「純正指定ひも」を使用してください。**

# 4．用語解説

（アイウエオ順）

・**カッタ**……稲，麦の排ワラを切断する装置。

・**スイーパ**……結束した束をノッタ装置から放出する装置。

・**セットピン(安全ピン)**……ノッタ部に異常な力がかかった時，ノッタを保護するために切断されるピン。
（部品名シャーピン）

・**ひもブレーキ**……結束ひもがゆるまないようにひもの張力を一定に保つ装置。

・**ひもホルダ**……結束ひもの端を保持する装置。

・**ビル**……ひもを結ぶ爪。

# お客様へ

ご使用の機械についてわからないことや故障が生じたときは，下記の点を明確にして，お買いあげ先へお問合わせください。

●ご使用機の型式と機械番号（製造番号）は…？

型　　式

機械番号（製造番号）

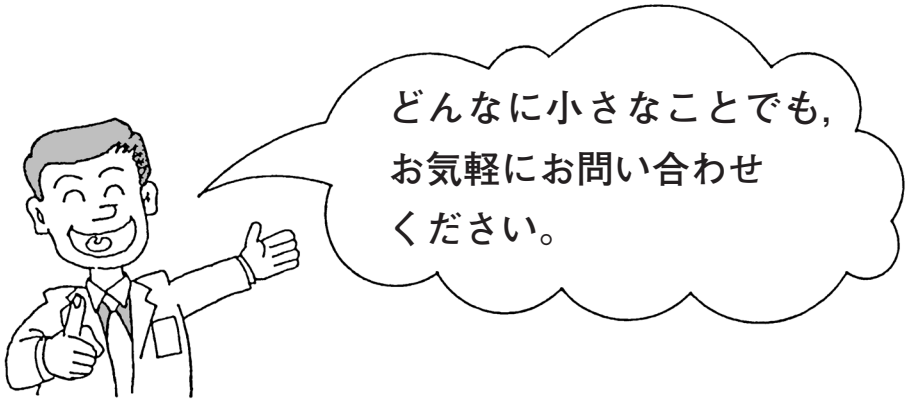
●ご使用状況は…？

（何速で，どんな作業のとき）

●どのくらい使用されましたか？

（約 _____ アール使用後）

●トラブルが発生したときの状況を，できるだけ詳しくお教えください。




（ご相談窓口）お買いあげ先

ＴＥＬ　　（　　）

No.041011-39642741002